Panasonic

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-FX500

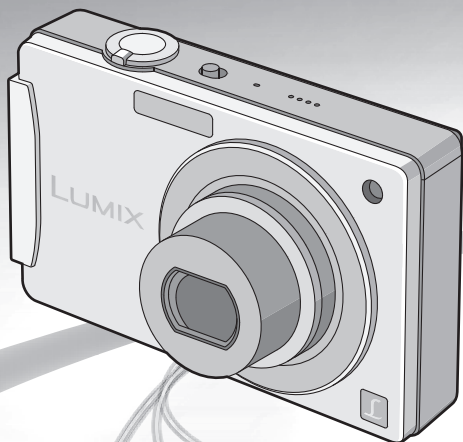
LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（6～9ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT1Q35-M

大切な瞬間を楽しくカンタンに撮る

撮る P29

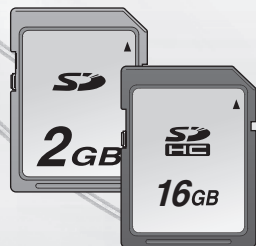
おまかせで撮る
（P29）
カメラが自動でシーンを判別
「インテリジェントオートモード」

ズームで撮る
（P34）
遠くの人も大きく
「光学５倍ズーム」など

タッチパネルを使う
（P47）
指で液晶モニターを直接タッチして操作
「タッチAF/AE」など

AFAE

SD 2GB

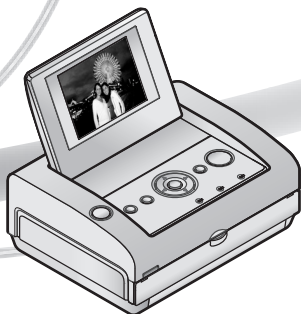
SDHC 16GB

各機器にSDカードスロットがある場合は、カードを直接スロットへ！
SDHCカードは、SDHCカード対応機器でのみ使用できます。

・見る・残す LUMIX（ルミックス）

見る P105

● テレビで見る

SDカード / AVケーブル

D端子接続用コンポーネントケーブル（別売）

残す P101

● ご家庭のプリンターで手軽にプリント
（PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター）
● お店でカードを渡してプリント
● 画像に日付を入れてプリント（P104）

SDカード / USB接続ケーブル

さらに 活かす、残す！ P99

● 画像をパソコンに保存
● パソコンで画像をメール送信
● パソコンで画像を直接操作してプリント

SDカード / USB接続ケーブル

● DVDレコーダーで画像をDVDやハードディスクに保存

※詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

SDカード

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮影

「安全上のご注意」を必ずお読みください（6～9ページ）

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分表示しています。**

⚠ 危険	「死亡や重傷など、危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	「死亡や重傷などの可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害や物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

してはいけない「禁止」内容です。	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

液もれ・発熱・発火・破裂によるけがを防ぐために

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、（電子レンジやオーブンなどでの）加熱、火中投入などをしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 右図の端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない

チャージャー（充電器）**は、本機専用のバッテリーにのみ使用する**

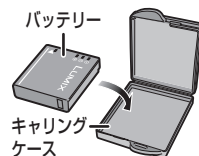
バッテリーは、正しく使う

- 専用のチャージャーで充電する
- 保管や持ち歩きには、付属のキャリングケースに入れる

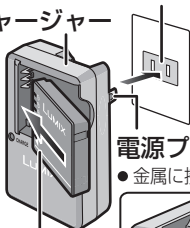
■ **バッテリーの液もれが起こったら**

- お買い上げの販売店にご相談ください。
- 液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったら、失明のおそれがあります。
すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリー

キャリングケース

⚠警告

ショートや発熱による火災や感電を防ぐために

電源コンセント
（交流 100 V～240 V）
チャージャー
電源プラグ
● 金属に接触させない
バッテリー
端子部（底面）
● 金属に接触させない

チャージャーは、誤った使いかたをしない

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

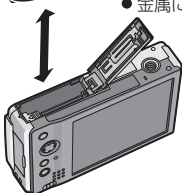
チャージャーの電源プラグは、正しく扱う

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む

雷が鳴ったら、触れない

本体やチャージャーには、金属部があります。

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

内部には、電圧の高い部分があります。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

- 粉じんの発生する場所でも使わない

異常時には、バッテリーを外す

- 内部がぬれたり、金属や異物が入ったとき
- 外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

⚠警告

事故を防ぐために

乗り物の運転中に使わない

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードやタッチペンは、乳幼児の手の届くところに置かない

万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

目の傷害や、やけど、事故を防ぐために

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離す（視力障害などの原因になることがあります）

フラッシュ発光部は、誤った取り扱いをしない

- ごみなどの異物がついたまま使わない（発光熱によって出る煙などで故障の原因になります）
- 発光直後に触らない
- 発光部をテープなどでふさがない

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

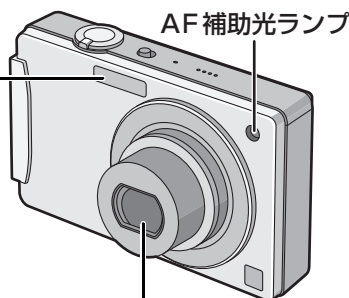
火災や感電を防ぐために

AF補助光ランプ

次のような場所に放置しない

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やトランクなど)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 重いものの下
- 足元など、誤って踏んでしまうようなところ

下記により、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 高温になる場所や重量物の下などに置くことによる製品の劣化や破損
- 油や水分、ほこりによる通電
- 本機に乗っての転倒

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

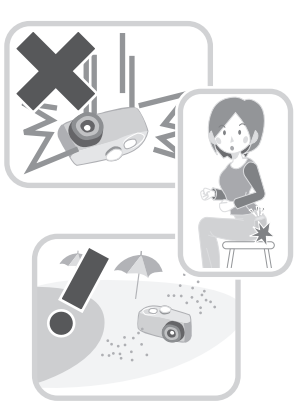
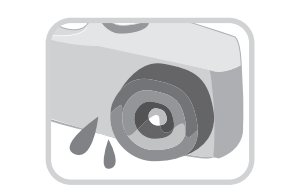
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のときは、バッテリーを取り出す

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

タッチペンをストラップに取り付けた状態で、タッチペンを持って本機をぶら下げたり、振り回したりしない

本機が落下し、けがや故障の原因になることがあります。

■ 不要(寿命)になったバッテリーは、リサイクル協力店へ(P123)

■ 修理や点検、異常時は、そのまま使わず、お買い上げの販売店にご相談ください

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **落下などによる強い振動や衝撃を与えないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニターが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。**
  また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。
- **万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**

■ つゆつきについて（レンズや液晶モニターがくもるとき）…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を［OFF］にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

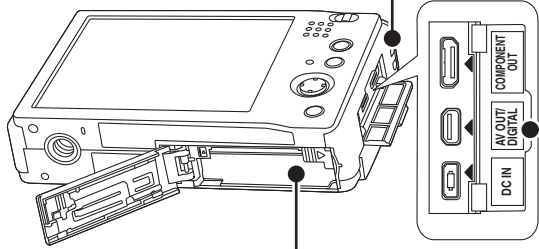
■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願い」も、あわせてお読みください（P121）

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2008年4月現在のものです。

- □ CD-ROM
- □ ストラップ VFC4304
- □ AVケーブル K1HA08CD0008
- □ USB接続ケーブル K1HA08CD0007

COMPONENT OUT
AV OUT/ DIGITAL
DC IN

- □ バッテリーチャージャー DE-A39A（本文中では**チャージャー**と表記します）
- □ バッテリーパック DMW-BCE10（本文中では**バッテリー**と表記します）
- □ バッテリーキャリングケース VYQ3914
- □ タッチペン VGQ9790

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については107ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

各部の名前

ズームレバー(P34)
シャッターボタン(P29、62)
セルフタイマーランプ(P46)/
AF補助光ランプ(P75)
レンズ鏡筒
レンズ部
(P10、122)
フラッシュ発光部
(P41)

カード/バッテリー扉(P17)
三脚取付部※1
開閉レバー(P17)

タッチパネル/液晶モニター(P13、39、109)
スピーカー(P88)
マイク(P62、75、97)
電源スイッチ(P19)
[MODE]ボタン(P28)
[DISPLAY]ボタン(P39)
撮影/再生切換
スイッチ(P20)
動作表示ランプ
(P17、25、29)
[MENU/SET]ボタン
(P19)
[Q.MENU](P22)/削除ボタン(P38)

ストラップ取付部※2

[COMPONENT OUT]
端子(P106)
[AV OUT/DIGITAL]
端子(P99、101、105)
[DC IN]端子※3
(P99、101)

ジョイスティック

▲(上)/
露出補正(P53)/
オートブラケット(P54)/
WB微調整(P69)/
逆光補正(P30)
◀(左)/
セルフタイマー(P46)
▶(右)/
フラッシュ(P41)
▼(下)/
マクロ撮影(P45)

ジョイスティックは、上下左右方向に傾ける操作と押して決定する操作との2とおりあります。
本書では、ジョイスティックを下図のように、または、▲/▼/◀/▶で説明しています。

例:◀(左)に傾けるとき
- ジョイスティックに指を置き、左に傾ける

例:[MENU/SET]ボタンを押すとき
- ジョイスティックをまっすぐ押し込む

※1 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

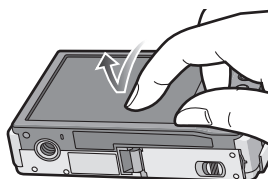
※2 **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**

※3 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用してください。

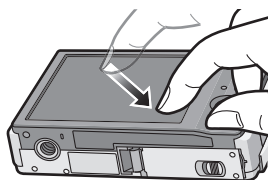
タッチパネルの使いかた

指で液晶モニター(タッチパネル)を直接タッチして操作できます。
指で操作しにくい場合やタイトル編集などの細かな作業には、タッチペン(付属)が便利です。

■ タッチする

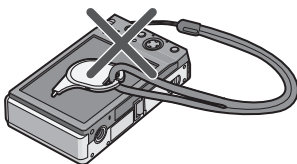
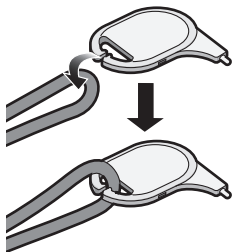
タッチパネルを押して離す動作です。
アイコンや画像を選択するときなどに使います。

■ ドラッグする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。
表示している画像の範囲を変更したり、スライドバーを操作して画面を切り換えるときなどに使います。

- 選択するアイコンを間違えたときは、そのまま他のアイコンまでドラッグして指を離すと、そのアイコンを選択できます。

お知らせ

- ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
(液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります)

タッチペンについて

- 付属のタッチペン以外は使わないでください。
- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- タッチペンは図のようにストラップ(付属)に取り付けることもできます。
- 収納時はタッチペンと液晶モニターを重ねないようにしてください。タッチペンで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因になります。

タッチ操作でできること

以下はタッチ操作でできることの一例です。

撮影時			
撮影モード選択（P28） 撮影モードをタッチして選択できます。	**タッチAF/AE（P47）** タッチパネルを使って指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。	**絞り値設定（P48、50）** **シャッタースピード設定（P49、50）** **露出補正（P48、49）** 画面に表示される設定バーをタッチして、絞り値またはシャッタースピードの設定や露出補正ができます。	
再生時			
再生モード選択（P37） 再生モードをタッチして選択できます。	**画像再生** **タッチズーム（P36）** 画面をタッチして画像を送ったり、再生画面を拡大できます。	**かんたん整理（P82）** タッチパネルを使って以下の操作ができます。 ●**お気に入り設定** ●**タッチズーム** ●**編集** ・**リサイズ** ・**トリミング** ・**タイトル編集** ●**削除**	**スライドショー（P76）** タッチパネルを使ってスライドショーの設定ができます。

お知らせ

● メニュー項目はタッチ操作で設定できません。ジョイスティックを使って設定してください。

バッテリーを充電する

- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
- **お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。**
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が 10 ℃～35 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行ってください。

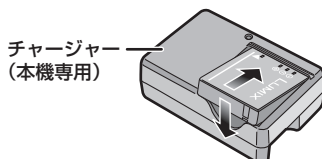
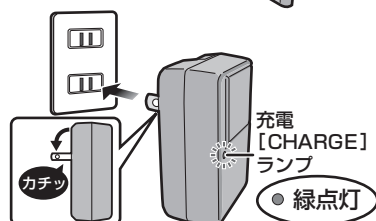
1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

チャージャー(本機専用)

2 電源コンセントに差し込む

カチッ

充電[CHARGE]ランプ

緑点灯

3 充電が完了したらバッテリーを取り外す

- 充電が完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

充電[CHARGE]ランプ

● 消灯

満充電完了
最大約 120分

■ 充電ランプが点滅するときは

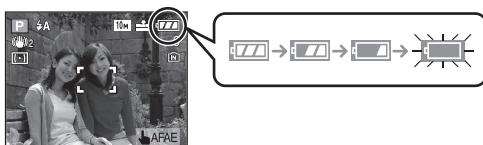
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。または充電が完了しない場合があります。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

- 充電完了後は、電源コンセントから外してください。
- 使用後や充電中、充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります)
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。
- **チャージャーは海外でも使うことができます。(P108)**
- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

バッテリーについて（充電・記録可能枚数）

■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。
[ACアダプター(別売:DMW-AC5)につないで使用するときは表示されません]

● バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します)
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

■ 電池寿命について

記録可能枚数	**約280枚(約140分相当)**(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

CIPA規格による撮影条件
- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製のSDメモリーカード(16 MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[MODE2]使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

※[オートパワーLCD]、[パワーLCD]または[ハイアングル](P23)時は記録可能枚数が減少します。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4(約70枚)になります]

再生時間	**約300分**

記録可能枚数/再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

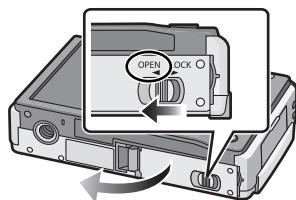
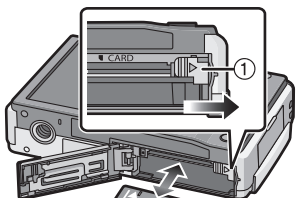
充電時間	**最大約120分**

別売のバッテリーパック(DMW-BCE10)の充電時間と**記録可能枚数**は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。
充電時間は、バッテリーの状態や充電環境によって多少変わります。
充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

お知らせ
- バッテリーは、充電回数が増えると、使用時間が短くなり、膨らむ特性を持っています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをおすすめします。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

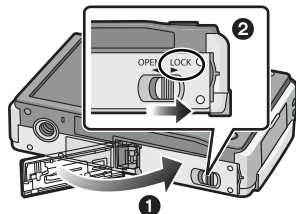
1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー：
向きに気をつけて、奥まで入れる
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

接続端子部
端子部には触れないでください。

向きを確認

3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーキャリングケース（付属）に収納してください。
- 液晶モニターや動作表示ランプ（緑）が点灯した状態でバッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合:**
  カードで画像の記録・再生

内蔵メモリーの場合
IN →IN (アクセス表示※)
カードの場合
→ (アクセス表示※)
※アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **容量:約50 MB**
- **記録できる動画:QVGA(320×240画素)のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- 記録した画像はカードにコピーすることができます。(P98)
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機では、以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

カードの種類	特長
SDメモリーカード(8 MB～2 GB) (SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマット済み)	●記録/読み出し速度が速い。 ●書き込み禁止スイッチが付いています。(スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。) 書き込み禁止スイッチ
SDHCメモリーカード(4 GB、8 GB、16 GB)※ (SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマット済み)	
マルチメディアカード	●静止画のみ対応。
miniSDカード	●本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。)
microSDカード/microSDHCカード	

※2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
※SDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(必ずお使いの機器の説明書をお読みください)
- 4 GB以上のカードはSDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- **アクセス表示点灯中[画像の読み出しや削除、フォーマット(P27)中など]は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC5)を取り外さないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。**
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P27)

時計を設定する

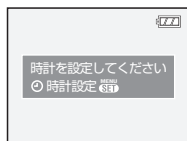
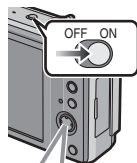
● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源を [ON] にする

● 「時計を設定してください」が表示されます。(再生モード時は表示されません)

2 [MENU/SET] を押す

OFF ON

時計を設定してください
時計設定 MENU SET

ジョイスティックの使いかた

ジョイスティックは上下左右方向に傾ける操作と、押して決定する操作との2とおりあります。

例：◀(左)に傾けるとき

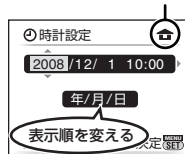
● ジョイスティックに指を置き、左に傾ける

3 ◀/▶ で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順)を選び、▲/▼ で設定する

● 表示順を変えると、以下のように表示されます。
(例;2008年12月1日10時00分)
・[年/月/日]:2008/12/ 1 10:00
・[日/月/年]:10:00 1/DEC/2008
・[月/日/年]:10:00 DEC/ 1/2008

● [㎡]を押すと、時計を設定せずに中止します。

⌂:ホームの時間
✈:旅行先の時間(P65)

時計設定
2008 /12/ 1 10:00
年/月/日
表示順を変える
決定 MENU SET

4 [MENU/SET] を押して決定する

● 時計設定終了後、一度電源を[OFF]にしてから撮影モードで[ON]にして、設定どおり表示されているか確認してください。

■ 時計設定を変更する場合(プログラムAEモード時)

1 [MENU/SET] を押す
2 ▲/▼ で [時計設定] を選ぶ
3 ▶ に傾け、上記の手順3、4の操作で決定する
4 [MENU/SET] を押してメニューを終了する
● セットアップメニュー(P23)でも設定できます。

お知らせ

● 撮影時に[DISPLAY]を数回押すと、時計が表示されます。
● 満充電されたバッテリーを挿入して約24時間経過すると、時計用の内蔵電池の充電が完了するため、バッテリーを取り出して放置しても、約3ヵ月は時計設定を記憶しています。(十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間が短くなることがあります)
● 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
● 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P90)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
● 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

準備

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

撮影/再生切換スイッチ

[▶](再生メニュー)(P90～98)	[📷](撮影メニュー)(P66～75)
● 画像の回転や保護、プリントするときに便利な設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。	● 色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
再生 1 2 文字焼き込み 複数リサイズ 横縦比変換 画像回転 回転表示 ON 選択 終了 MENU SET	撮影 1 2 3 4 記録画素数 10M クオリティ 画像横縦比 4:3 インテリジェントISO OFF ISO感度 AUTO 選択 終了 MENU SET

[🔧](セットアップメニュー)(P23～27)
● 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 ● [セットアップメニュー]は[撮影モード]、[再生モード]のどちらからでも設定できます。
セットアップ 1 2 3 4 5 時計設定 ワールドタイム 液晶明るさ ±0 LCDモード OFF 操作音 選択 終了 MENU SET

■ 状況により設定できない/働かない機能について

本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。
詳しくは、113ページをお読みください。

メニュー項目の設定方法

ここでは、プログラムAEモードの設定方法を説明していますが、再生メニューやセットアップメニューも同じ方法で設定できます。

例)プログラムAEモードで、[オートフォーカスモード]を[■](1点)から[顔](顔認識)に設定する

1 電源を[ON]にする

2 撮影/再生切換スイッチを[iA/カメラ]にし、[MODE]を押す

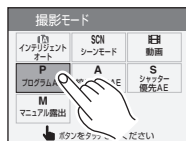
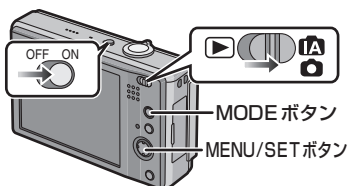
- 再生メニューを設定するときは、撮影/再生切換スイッチを[▶]にして、手順**4**へ進んでください。

MODEボタン

MENU/SETボタン

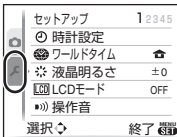
3 [プログラムAE]をタッチする

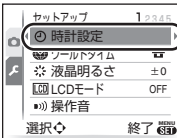
4 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

- メニュー項目はタッチ操作で設定できません。ジョイスティックを使って設定してください。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

セットアップメニューとの切り換え

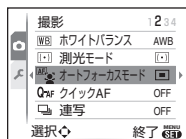
1 ◀に傾ける

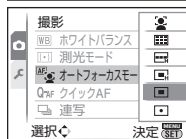
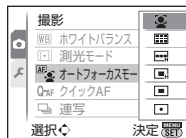
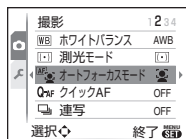
選択時オレンジ色で表示

2 ▼に傾けてセットアップメニューアイコン[🔧]を選ぶ

3 ▶に傾ける

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

メニューを使って設定する（つづき）

5 ▲/▼に傾けて[オートフォーカスモード]を選ぶ

- 一番下の項目を選んで、さらに▼に傾けると、2画面目に移ります。

6 ▶に傾ける

- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

7 ▲/▼に傾けて[顔認識]を選ぶ

8 [MENU/SET]を押して決定する

9 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードによっては、設定できない項目もあります。
- [手ブレ補正](P74)を選択しているときに[DISPLAY]を押すと、[手ブレ・動き検出デモ]を表示することができます。

1 撮影状態で、クイックメニューが表示されるまで[Q.MENU]を押したままにする

2 ▲/▼/◀/▶で項目と設定内容を選び、[MENU/SET]を押して終了する

Q.MENU

ホワイトバランス
オートホワイトバランス

設定する項目と設定内容が表示されます。

必要に応じて設定してください。

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[オートレビュー]、[エコモード]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

- インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[トラベル日付]、[操作音]のみ設定できます。

セットアップメニューの設定方法はP21へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	● 詳しくは、19ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[旅行先]: 旅行先の地域 ▶ [ホーム]: お住まいの地域 ● 詳しくは、65ページをお読みください。
液晶明るさ 液晶の明るさを7段階に調整します。	▶ [±0]
LCDモード 高い位置から撮影するときや、屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	▶ [OFF] [(オートパワーLCD)]: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [(パワーLCD)]: 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [(ハイアングル)]: 高い位置から撮影するときに見やすくします。 ● [ハイアングル]は、電源が切れると(パワーセーブを含む)解除されます。 ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 ● [オートパワーLCD]、[パワーLCD]または[ハイアングル]時は記録可能枚数が減少します。

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	**[操作音音量]**： [ ]：なし ▶ [ ]：小 [ ]：大 **[シャッター音音量]**： [ ]：なし ▶ [ ]：小 [ ]：大 **[操作音音色]**： ▶ [❶] [❷] [❸] **[シャッター音音色]**： ▶ [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	▶ [LEVEL3] ●テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報をあわせて表示するかしないかを設定します。(P39)	**[撮影情報]**： ▶ [OFF] [ON] **[パターン]**： ▶ [ ] [ ] ●インテリジェントオートモードでは、[パターン]は[ ]に固定されます。
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。(P40)	▶ [OFF] [ON]
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	▶ [OFF] [設定] ●詳しくは、64ページをお読みください。
ECO **エコモード** 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。	**[パワーセーブ]**：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [OFF] [2分] ▶ [5分] [10分]

項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
ECO エコモード（つづき）	[自動液晶OFF]：撮影時、設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。 ▶[OFF] [15秒] [30秒] ●[パワーセーブ]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源を[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。 ●インテリジェントオートモード時は、[パワーセーブ]は[5分]に固定されます。 ●[自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると、[パワーセーブ]は[2分]に固定されます。 ●液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[OFF] [1秒] ▶[2秒] [ホールド]：ボタンを押すまで表示 [ズーム]：1秒表示後4倍拡大で1秒表示 ●オートブラケット撮影(P54)、シーンモードの[高速連写](P59)、音声付き静止画(P75)、[連写](P72)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。(拡大はされません) ●インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P100) ●フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P27)することをおすすめします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ●撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ●セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[回転表示](P94)は[ON]になります。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P58)、[ペット](P59)の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付](P64)の設定内容（出発日、帰着日） ・[ワールドタイム](P65)の設定内容 ●フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

準備

必要に応じて設定してください。

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
USBモード USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	▶ **[接続時に選択]**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge（PTP）]のいずれかを選択します。 **[PictBridge（PTP）]**：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 **[PC]**：パソコンに接続する場合に設定します。 ● [PC]に設定すると、USBのMass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。 ● [PictBridge（PTP）]に設定すると、USBのPTP（Picture Transfer Protocol）（ピクチャー トランスファー プロトコル）通信方式で接続されます。
ビデオ出力 各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。（再生モードのみ）	▶ **[NTSC]**：日本やアメリカなど **[PAL]**：ヨーロッパなど ● AVケーブル接続時に働きます。
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。（再生モードのみ）	**[16:9]**：画面が16：9のテレビと接続時 ▶ **[4:3]**：画面が4：3のテレビと接続時 ● AVケーブル接続時に働きます。
m/ft表示 撮影可能範囲表示の単位を変更します。	▶ **[m]**：メートル **[ft]**：フィート
タッチガイド タッチAF/AEやタッチズームなどのガイド画面を表示するかしないかを設定します。	**[OFF]** ▶ **[ON]**

セットアップメニューの設定方法はP21へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用し、フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。 ●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ●カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。
タッチパネル調整 タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。	**1 [MENU/SET]を押す** **2 画面に表示されるオレンジ色の＋マークを、タッチペン(付属)で順番にタッチする(5個所)** ●位置調整が完了するとメッセージが表示されます。 戻る **3 [MENU/SET]を押して終了する** ●正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。＋マークをタッチし直してください。
DEMO **デモモード** [手ブレ・動き検出デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ・動き検出デモ]** **[自動デモ]**:本機の特長をスライドショーで表示 ●再生モード時に[手ブレ・動き検出デモ]は表示できません。 ●[手ブレ・動き検出デモ]を終了する場合は、[DISPLAY]を押してください。 [自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。 手ブレ・動き検出デモ / 手ブレ検出デモ / 動き検出デモ / 撮影画面で表示することはできません / 終了 DISPLAY ●[手ブレ・動き検出デモ]は目安です。 ●自動デモはテレビ出力されません。

準備

撮影モードを選ぶ

撮影モードを切り換えると、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うインテリジェントオートモードや、目的に適した撮影ができるシーンモードなどに設定することができます。

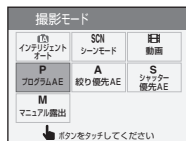
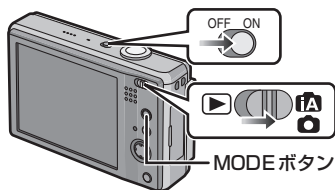
1 電源を [ON] にする

2 撮影/再生切換スイッチを [iA/📷] にする

3 [MODE] を押す

4 モードを選び、タッチする

OFF ON
MODE ボタン

撮影モード
iA インテリジェントオート
SCN シーンモード
動画
P プログラムAE
A 絞り優先AE
S シャッター優先AE
M マニュアル露出
ボタンをタッチしてください

撮影モード一覧

iA インテリジェントオートモード P29

カメラにおまかせで撮影します。

P プログラムAEモード P32

お好みの設定で撮影します。

A 絞り優先AEモード P48

絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先AEモード P49

シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード P50

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

SCN シーンモード P55

撮影シーンに合わせて撮影できます。

動画撮影モード P62

音声付き動画を撮影します。

お知らせ

- 再生モードから撮影モードに切り換えたときは、前回設定した撮影モードになります。

撮影モード：iA

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

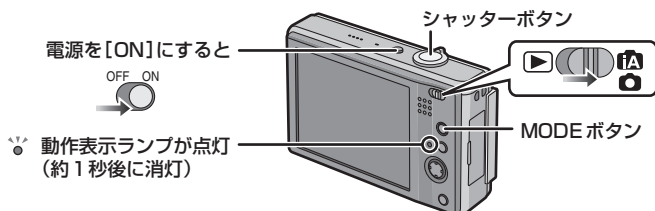
- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/クイックAF/暗部補正（インテリジェント暗部補正）/デジタル赤目補正

電源を［ON］にすると

OFF ON

動作表示ランプが点灯（約１秒後に消灯）

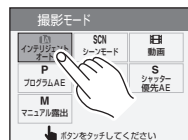
シャッターボタン

MODEボタン

1 撮影/再生切換スイッチを［iA/📷］にし、［MODE］を押す

2 ［インテリジェントオート］をタッチする

撮影モード

インテリジェントオート / SCN シーンモード / 動画 / P プログラムAE / S シャッター優先AE / M マニュアル露出

ボタンをタッチしてください

3 両手で軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

フラッシュ発光部

AF補助光ランプ

4 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は5 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞です。

フォーカス表示

AFエリア

5 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P18）が赤く点灯します。

■ フラッシュを使って撮影するときは（P41）
■ ズームを使って撮影するときは（P34）
■ タッチAF/AEを使って撮影するときは（P47）

準備

基本

カメラにおまかせで撮る（[iA]：インテリジェントオートモード）（つづき）

お知らせ

- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

[iA] →

[icon]	i人物	
[icon]	i風景	
[icon]	iマクロ	
[icon]	i夜景＆人物	・[⚡A]選択時のみ
[icon]	i夜景	・[⊛]選択時のみ

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [icon]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- タッチAF/AE時（P47）にはタッチした被写体に最適なシーンを判別します。

■ 顔認識について

[icon]、[icon]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。（P71）
逆光の場合は顔の明るさが適正になるよう、自動的に補正します。

逆光補正▲ AFAE

お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いている場合/ズーム倍率
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生した場合
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。

▲に傾ける

- [逆光補正▲]をタッチしても逆光を補正できます。
- 逆光補正時は[icon]が表示されます。
  解除するにはもう一度▲に傾けてください。

逆光補正オン AFAE

MENU/SET

フラッシュについて

- [⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じてデジタル赤目補正(P42)が働き、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、フラッシュが2回発光します。

インテリジェントオートモード時の設定内容

- 以下の機能のみ設定できます。

撮影メニュー

・[記録画素数]※(P66)/[画像横縦比](P67)/[連写](P72)/[カラーエフェクト]※(P73)/[手ブレ補正]※(P74)

※他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

セットアップメニュー

・[時計設定]/[ワールドタイム]/[トラベル日付]/[操作音]

- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
ガイドライン表示(P24)	⊞([撮影情報]は[OFF])
エコモード(パワーセーブ)(P24)	5分
オートレビュー(P25)	2秒
撮影可能範囲	ピントが合う範囲はマクロ撮影(P45)と同じになります。[5 cm(W端時)/1 m(T端時)〜∞] ● ズーム倍率により最至近距離(もっとも被写体に近づける距離)は変わります。
セルフタイマー(P46)	10秒
クオリティ(P67)	▪(記録画素数が[0.3M](0.3M EZ)のときは[▪])
インテリジェントISO(P67)	ISOMAX 800
ホワイトバランス(P68)	AWB
測光モード(P70)	[(•)]
オートフォーカスモード(P70)	☻(顔が認識されないときは[▦])
クイックAF(P72)	ON
暗部補正(P73)	ON
AF補助光(P75)	ON

- 以下の機能は使えません。

・露出補正/オートブラケット/ホワイトバランス微調整/[デジタルズーム]/[画質調整]/[下限シャッター速度]/[音声記録]/[ヒストグラム表示]

- セットアップメニューのその他の項目は、プログラムAEモードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

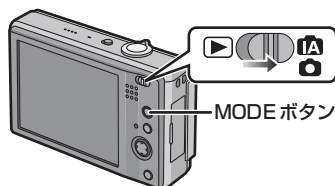
基本

撮影モード：P

お好みの設定で撮る（P：プログラムAEモード）

インテリジェントオートモード(P29)で撮影するときよりも、多彩なメニューを設定し、さらに自由な撮影をすることができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/●]にし、[MODE]を押す

MODEボタン

2 [プログラムAE]をタッチする

● 撮影時の設定を変更したいときは、66ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

3 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

● ピントが合う範囲は50 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。
● さらに近づいて撮影するときは、45ページの「近づいて撮る(マクロ撮影)」をお読みください。

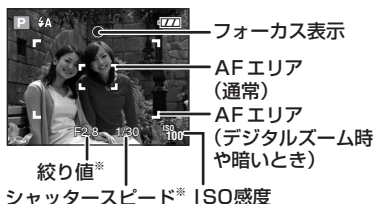
5 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

● 内蔵メモリー(またはカード)に画像を記録しているときは、アクセス表示(P18)が赤く点灯します。

■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには(P53)

■ 画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには(P68)

ピントの合わせかた

フォーカス表示
AFエリア（通常）
AFエリア（デジタルズーム時や暗いとき）
絞り値※
シャッタースピード※
ISO感度

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

※ 適正露出にならないときは、赤くなります。
（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

- 手順**1**の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。（P70）

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの。
- 撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき。
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき。
- 暗いときや手ブレしているとき。
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき。

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正（P74）、三脚、セルフタイマー（P46）などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモード（P55）の[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。（[回転表示]（P94）を[ON]に設定している場合のみ）

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

撮影モード：iA P A S M SCN 動画（iA 時はデジタルズーム設定不可）

ズームを使って撮る

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大8.9倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。
また、撮影メニューで[デジタルズーム]を[ON]に設定すると、より拡大が可能になります。

大きく撮るには(望遠)
ズームレバーをT側へ回す

広く撮るには(広角)
ズームレバーをW側へ回す

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)	デジタルズーム
最大倍率	5倍	8.9倍※1	20倍(光学ズーム5倍含む) 35.6倍(EX光学ズーム8.9倍含む)
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	EZ付きの記録画素数(P66)を選ぶ	撮影メニューの[デジタルズーム](P73)を[ON]に設定する
画面表示	W T	EZ W T EZを表示	デジタルズーム領域を表示 W T EZ W T デジタルズーム領域※2でシャッターボタンを半押しすると、AFエリアが大きくなります。

- **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例：0.5m−∞)**

※1 記録画素数や画像横縦比により変わります。
※2 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。その状態でズームレバーをT側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度ズームレバーをT側に回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M](300万画素相当)に設定すると、CCDの持つ10M(1010万画素相当)の領域のうち、3M(300万画素相当)分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

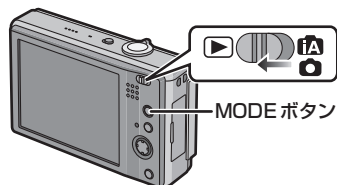
お知らせ
- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 電源[ON]時はW端(1倍)です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P46)を使って撮影することをおすすめします。

再生モード：[▶]

画像を見る（通常再生）

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にする

● 以下の場合は自動的に通常再生になります。
・撮影モードから再生モードに切り換えたとき
・撮影/再生切換スイッチが[▶]時に、電源を[ON]にしたとき

MODEボタン

2 画面左右の[◀]/[▶]をタッチして画像を送る

● ジョイスティックを◀/▶に傾けても画像を送ることができます。
● 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

ファイル番号
画像番号
2008.12. 1. 10:00
前の画像へ　次の画像へ

■ 早送り/早戻しをするには

再生中に画面左右の[◀]/[▶]をタッチしたままにする

◀：早戻し　▶：早送り

● ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに[◀]/[▶]を離すと、その番号の画像が表示されます。
● タッチし続けると、送る枚数が増加します。

画像を見る（通常再生）（つづき）

再生画面を拡大する（タッチズーム）

1 画面右下の[ ]をタッチする

2 拡大したい部分をタッチする

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍
- タッチした部分が拡大されます。
- ズームレバーを[Q](T)側に回しても画像を拡大することができます。
- [戻る]をタッチすると通常再生に戻ります。

3 画面をドラッグ(P13)して、拡大部分の位置を移動する

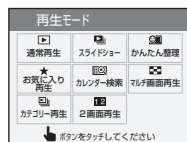
- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]をタッチ、またはジョイスティックを▲/▼/◀/▶に傾けても拡大部分の位置を移動させることができます。
- [×1.0]をタッチすると、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- [ ]をタッチ、またはズームレバーを[ ](W)側に回しても倍率は小さくなります。
- 1倍にしたあと、[戻る]をタッチすると通常再生に戻ります。

お知らせ
- 本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P85)
- 他機で撮影した画像はタッチズームできない場合があります。

再生モードを切り換えるには

1 再生時に [MODE] を押す

2 項目を選び、タッチする

再生モード
通常再生 スライドショー かんたん整理
お気に入り再生 カレンダー検索 マルチ画面再生
カテゴリー再生 2画面再生
ボタンをタッチしてください

再生モード一覧

通常再生 P35

すべての画像を再生します。

スライドショー P76

画像を順番に再生します。

かんたん整理 P82

タッチパネルで画像を編集/削除などができます。

★ お気に入り再生 P81

お気に入りの画像を再生します。

※[お気に入り]設定した画像がない場合は、[お気に入り再生]を選択できません。

カレンダー検索 P79

撮影した日付ごとに画像を再生します。

マルチ画面再生 P78

複数の画像を一覧表示にして再生します。

カテゴリー再生 P81

カテゴリーで分類した画像を再生します。

12 2画面再生 P80

画像を並べて再生します。

再生モード：▶

画像を削除する

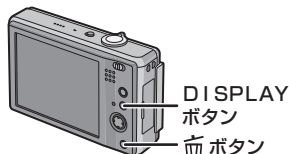
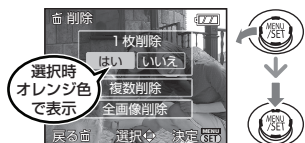
画像は一度削除すると元に戻すことができません。
- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が削除されます。

1枚削除

1 削除する画像を選び、[🗑] を押す

DISPLAYボタン
🗑 ボタン

2 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

🗑 削除
1枚削除
はい　いいえ
複数削除
全画像削除
戻る🗑　選択　決定
選択時オレンジ色で表示

複数(50枚まで)/全画像削除

1 [🗑] を押す

2 ▲/▼で[複数削除]または[全画像削除]を選び、[MENU/SET]を押す
- [全画像削除]→手順**5**へ

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]で設定する(繰り返す)
- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

複数削除
中止🗑　実行
選択　設定/解除
DISPLAY

4 [MENU/SET] を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

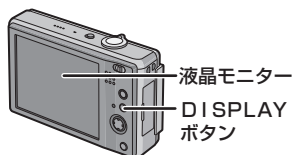
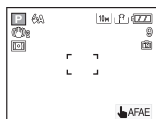
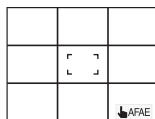
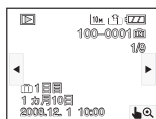
■ [お気に入り](P83)設定時に[全画像削除]を選んだときは
再度、選択画面が表示されます。[全画像削除]または[★以外全削除]を選び、▲で[はい]を選んで画像を削除してください。

お知らせ
- 削除中([🗑]表示中)は電源を[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用してください。
- [複数削除]、[全画像削除]または[★以外全削除]中に[MENU/SET]を押すと、途中で削除が中止されます。
- 削除枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定(P96)された画像の場合は、[全画像削除]または[★以外全削除]をしても削除されません。

液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY] を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。

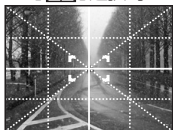
液晶モニター
DISPLAY ボタン

撮影時

表示(撮影情報)あり※1 → 表示なし※3 → ガイドライン表示※1、2、3

再生時

表示あり → 表示＋撮影情報※1 → 表示なし※3

※1 セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※2 セットアップメニューの[ガイドライン表示]で、表示するガイドラインのパターンを設定できます。また、ガイドライン表示時に、撮影情報を合わせて表示する/表示しないを設定できます。
※3 一定時間何も操作をしないとタッチアイコンが消えます。

お知らせ

- シーンモード(P55)の[夜景&人物]、[夜景]、[星空]、[花火]では、ガイドラインはグレーで表示されます。

■ ガイドライン表示について

[田]選択時　[米]選択時

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

田：画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。
米：画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

液晶モニターの表示を切り換える（つづき）

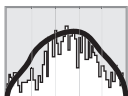
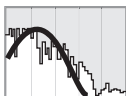
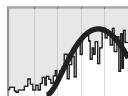
■ ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

❶ 暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

❷ 暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

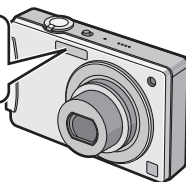
❸ 明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶ 適正な明るさの画像　❷ 暗い画像　❸ 明るい画像

お知らせ

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合はヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが±0 EV以外のとき
  - フラッシュが発光するとき
  - シーンモード(P55)の[星空]、[花火]のとき
  - 暗いところで、液晶モニターの明るさが正確に表示できないとき
  - 適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

撮影モード：iA P A S M SCN　▲/▼/◀/▶はジョイスティックの上下左右を表しています

フラッシュを使って撮る

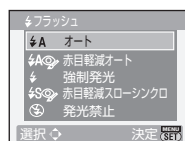
フラッシュ発光部
指などでふさがないようにしてください。

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶(ϟ)に傾ける

2 ▲/▼でモードを選ぶ

- ▶(ϟ)でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、42ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

ϟフラッシュ
ϟA オート
ϟA◎ 赤目軽減オート
ϟ 強制発光
ϟS◎ 赤目軽減スローシンクロ
⊛ 発光禁止
選択 ◇　決定 MENU SET

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
ϟA: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
ϟA◎: 赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ●暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
ϟ: 強制発光 **ϟ◎: 赤目軽減強制発光※**	フラッシュを強制的に発光させます。 **●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** **●シーンモード(P55)の[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[ϟ◎]になります。**
ϟS◎: 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 **●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊛: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 **●フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

応用・撮影

フラッシュを使って撮る（つづき）

■ デジタル赤目補正について

赤目軽減（[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。
※赤目の状態によっては補正できない場合があります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎:シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	🚫
P	○	○	○	○	×	○
A	○	○	○	○	×	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	🚫
	×	×	×	○	○	◎
1	○	◎	○	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	○

※[⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
AUTO	約60 cm～約6.0 m	約1.0 m～約2.8 m
ISO100	約60 cm～約1.9 m	約1.0 m
ISO200	約60 cm～約2.7 m	約1.0 m～約1.2 m
ISO400	約60 cm～約3.8 m	約1.0 m～約1.8 m
ISO800	約80 cm～約5.4 m	約1.0 m～約2.5 m
ISO1600	約1.15 m～約7.7 m	約1.0 m～約3.6 m

- シーンモードの[高感度](P59)では、[ISO1600]～[ISO6400]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。
  W端時:約1.15 m～約15.4 m　T端時:約1.0 m～約7.3 m

■ インテリジェントISO設定時のフラッシュ撮影可能範囲

最高ISO感度 (P67)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
ISOMAX 400	約60 cm～約3.8 m	約1.0 m～約1.8 m
ISOMAX 800	約80 cm～約5.4 m	約1.0 m～約2.5 m
ISOMAX 1600	約1.15 m～約7.7 m	約1.0 m～約3.6 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/30～1/2000秒
⚡A◎	
⚡ / ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1[※1]～1/2000秒 1～または1/4～1/2000秒[※2]
⊛	1[※1]～1/2000秒 1～または1/4～1/2000秒[※2、3]

※1 [下限シャッター速度]設定(P75)によって変わります。
※2 [インテリジェントISO]設定時(P67)
※3 シーンモード(P55)の[スポーツ]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]

- ※2、3でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- 絞り優先AE、シャッター優先AE、マニュアル露出については、52ページをお読みください。
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

撮影モード：iA P A S M SCN

フラッシュを使って撮る（つづき）

- シーンモードでは、シャッタースピードが 43ページの表と異なります。
  - ・[夜景&人物]:　1～または1/8～1/2000秒※4
  - ・[夜景]:　8～または1/8～1/2000秒※4
  - ・[キャンドル]:　1～または1/8～1/2000秒※4
  - ・[星空]:　15秒、30秒、60秒
  - ・[花火]:　1/4秒、2秒※4
  - ・その他のシーンモード：1/8～1/2000秒

  ※4 [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときに最大値のシャッタースピードになります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。また、**[自動液晶OFF]を設定しているときは、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。**
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

撮影モード：PASMM

▲/▼/◀/▶はジョイスティックの上下左右を表しています

近づいて撮る（マクロ撮影）

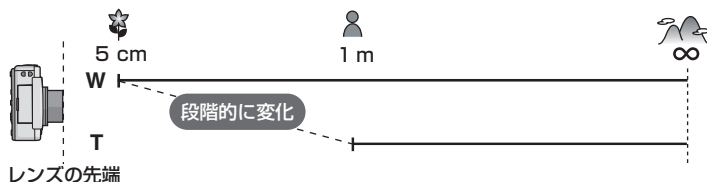
花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。

1 ▼（🌷）に傾ける

- マクロ撮影時は[AF🌷]が表示されます。
  解除するにはもう一度▼に傾けてください。

2 撮影する

■ マクロ撮影時のピントの合う範囲

5 cm
1 m
∞
W
T
段階的に変化
レンズの先端

お知らせ

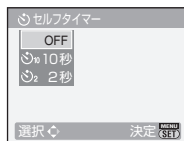
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[⊛]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が1 m以上離れている場合は、通常の撮影時よりピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

セルフタイマーを使って撮る

1 ◀(セルフタイマー)に傾ける

2 ▲/▼で時間を選ぶ

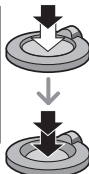
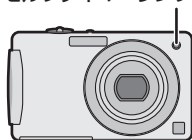
- ◀(セルフタイマー)でも選ぶことができます。

セルフタイマー
OFF
10 10秒
2 2秒
選択　決定 MENU SET

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]を押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

中止 MENU SET

セルフタイマーランプ

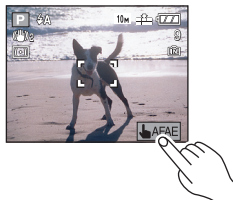
お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光(P75)として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写]の撮影枚数は、3枚に固定されます。
- インテリジェントオートモード時は、2秒に設定できません。
- シーンモードの[自分撮り]時は、10秒に設定できません。
- シーンモードの[高速連写]時は、セルフタイマーの設定はできません。

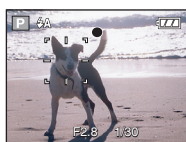
撮影モード: iA P A S M SCN

狙った被写体にピントや露出を合わせて撮る（タッチAF/AE）

タッチパネルを使って指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。
さらに、被写体が動いても自動でピントや露出を合わせ続けます。（動体追尾）

1 [AFAE]をタッチする

2 被写体を選び、タッチする

- 被写体を認識するとAFエリアが表示され、被写体の動きに合わせて連続的にピントや露出を合わせます。（動体追尾）
- [戻る]をタッチするとタッチAF/AEが解除されます。

3 撮影する

お知らせ

- 以下の場合など、撮影状況によっては、タッチAF/AEに失敗したり、動体追尾で被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・撮影場所が暗い
  - ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ・ズーム使用時
- タッチAF/AEに失敗したときは、AFエリアが赤く点滅したあと消えます。もう一度画面をタッチしてください。
- タッチAF/AEや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[▦]で撮影されます。
- タッチ可能範囲外をタッチすると、可能範囲を示す枠が表示されます。タッチ可能範囲外をタッチしても無効になります。
- インテリジェントオートモード時は、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。
- マニュアル露出時は、ピントのみ合わせることができます。
- タッチAF/AE時は、[クイックAF]は働きません。

撮影モード：A

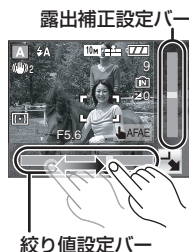
絞りを決めて撮る（A：絞り優先AE）

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/●]にし、[MODE]を押す

2 [絞り優先AE]をタッチする

3 絞り値設定バーをタッチする

- 露出補正設定バーにタッチすると露出を補正することができます。(P53)設定したい露出補正値をタッチしてください。

露出補正設定バー

絞り値設定バー

4 撮影する

お知らせ

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、52ページをお読みください。
- スライドバーを非表示にすることができます。(P51)
- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- 明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

撮影モード：S

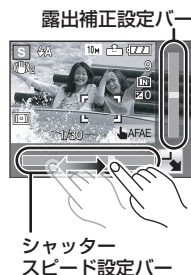
シャッタースピードを決めて撮る（S：シャッター優先AE）

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/📷]にし、[MODE]を押す

2 [シャッター優先AE]をタッチする

3 シャッタースピード設定バーをタッチする

- 露出補正設定バーにタッチすると露出を補正することができます。(P53)設定したい露出補正値をタッチしてください。

露出補正設定バー

シャッタースピード設定バー

4 撮影する

お知らせ

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、52ページをお読みください。
- スライドバーを非表示にすることができます。(P51)
- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

撮影モード：M

手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します。

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/●]にし、[MODE]を押す

2 [マニュアル露出]をタッチする

3 絞り値設定バーまたはシャッタースピード設定バーをタッチする

絞り値設定バー

シャッタースピード設定バー

4 シャッターボタンを半押しする

- 露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが約10秒間表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

マニュアル露出アシスト

5 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

表示	説明
-2 -1 0 +1 +2（0の位置）	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2（+1の位置）	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2（-1の位置）	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。再生モードで確認しながら撮影することをおすすめします。

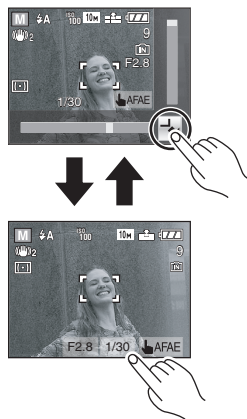
お知らせ

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、52ページをお読みください。
- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- [ISO感度]の[AUTO]は設定できません。
- [ISO感度]が[AUTO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると[ISO感度]は[ISO100]になり、[暗部補正]の設定は解除されます。

スライドバーを非表示にする

[ ]をタッチするとスライドバーを非表示にすることができます。
設定を変更したい場合は、絞り値、シャッタースピードまたは露出の表示をタッチしてください。

- タッチAF/AE時にも、スライドバーは非表示になります。

撮影モード：ASM

絞り値とシャッタースピードについて

■ 絞り優先 AE

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）			本機で設定される シャッタースピード（秒）
F8.0			8～1/2000
F7.1	F6.3	F5.6	8～1/1600
F5.0	F4.5	F4.0	8～1/1300
F3.5	F3.2	F2.8	8～1/1000

■ シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）				本機で設定される 絞り値
8	6	5	4	F2.8～F8.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/1300				F4.0～F8.0
1/1600				F5.6～F8.0
1/2000				F8.0

■ マニュアル露出

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）	設定可能なシャッタースピード（秒） （1/3 EV ごと）
F2.8～F3.5	60～1/1000
F4.0～F5.0	60～1/1300
F5.6～F7.1	60～1/1600
F8.0	60～1/2000

お知らせ
- 上記表の絞り値は、ズームW端時の値です。
- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

撮影モード：P A S SCN ▲/▼/◀/▶ はジョイスティックの上下左右を表しています

露出を補正して撮る

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲( )に傾け、[露出補正]を表示させ、◀/▶で露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、"0 EV" を選んでください。

露出補正

1/3 EV −2 −1 0 +1 +2

選択 終了

2 [MENU/SET]を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- 絞り優先AEまたはシャッター優先AE時は、露出補正設定バーにタッチしても露出を補正できます。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

1回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。露出が異なる3枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1 EVの場合

1枚目	2枚目	3枚目
±0 EV	−1 EV	＋1 EV

1 ▲(露出補正)に数回傾け、[オートブラケット]を表示させ、◀/▶で露出の補正幅を設定する

- オートブラケット撮影をしない場合は、"0"(OFF)を選んでください。

2 [MENU/SET]を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- オートブラケットを設定すると、画面に[オートブラケット]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 電源を[OFF](パワーセーブモードを含む)にするとオートブラケットの設定が解除されます。
- オートブラケットを設定すると、[オートレビュー]の設定にかかわらずオートレビューされます。(拡大はされません)セットアップメニューで[オートレビュー]の設定はできません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出時は、シャッタースピードが1秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[発光禁止]になります。**
- **オートブラケットを設定すると、連写は解除されます。**

撮影モード：SCN

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/●]にし、[MODE]を押す

2 [シーンモード]をタッチする

3 シーンモードを選び、タッチする

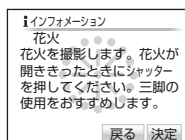
- 画面左右の[◀]/[▶]をタッチすると、メニュー画面を切り換えることができます。
- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

人物 1 2

インフォメーション OFF 戻る

■ iインフォメーションについて

- インフォメーションを[ON]にしていると、手順**3**でシーンモードをタッチしたときに、選んだシーンモードの説明が表示されます。

iインフォメーション
花火
花火を撮影します。花火が開ききったときにシャッターを押してください。三脚の使用をおすすめします。
戻る 決定

お知らせ

- シーンモードの撮影画面で[SCN]をタッチすると、上記手順**3**の画面に戻ります。
- シャッタースピードについては43、44ページをお読みください。
- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[インテリジェントISO]、[ISO感度]、[測光モード]、[暗部補正]、[カラーエフェクト]、[画質調整]の設定はできません。
- 下記以外のシーンモードでは、タッチAF/AEを使って撮影できます。
  - ・[星空]/[花火]
- 下記以外のシーンモードでは、自動的に[暗部補正]が働きます。
  - ・[夜景]/[料理]/[ペット]/[高速連写]/[星空]/[花火]/[ビーチ]/[雪]/[空撮]

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

項目	設定・お知らせ
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。(胸から上を撮りたいときに効果的です)	**撮影のテクニック** ●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ●背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ●撮影後は自動的にレビューされます。 ●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 ●ピントが合う範囲は約30 cm～約70 cmです。 ●音声付きで自分撮りすることができます。(P75)このとき、音声記録中にセルフタイマーランプが点灯します。 ●選択すると、ズームは自動的にW端の位置へ移動します。 ●セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2秒]に設定すると、電源を[OFF]にするかシーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの[2秒]設定は保持されます。 ●[手ブレ補正]は[MODE2]に固定されます。(P74) ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	●ピントが合う範囲は5 m～∞です。
スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。 ●[インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は[ISO800]になります。

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲は1.2 m～5 mです。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約1秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞]
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]または[ ]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞] ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定･お知らせ</th></tr>
<tr><td>赤ちゃん1/
赤ちゃん2

赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P90)で撮影画像に焼き込むことができます。</td><td>誕生日･名前設定
1　[月齢/年齢]または[名前]の[設定]をタッチする
月齢/年齢：OFF ON 設定
名前：OFF ON 設定
戻る 終了
2　誕生日/名前を入力する
誕生日：各項目の[▲]/[▼]をタッチして年･月･日を設定し、[決定]をタッチする。
名前：文字入力の方法については86ページの[タイトル編集]をお読みください。
●誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。
●誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。
3　[終了]をタッチして終了する

月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには
「誕生日･名前設定」の手順1で[OFF]に設定してください。

●CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って月齢/ 年齢や名前をプリントすることができます。
●誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。
撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。
●ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。
[5 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞]
●[インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は[ISO400]になります。
●起動した場合に約５秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。
●月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
●[設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。
●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P90)で撮影画像に焼き込むことができます。	[月齢/年齢]、[名前]については、58ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。 ●[AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。 ●[インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は [ISO800]になります。 ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[■]になります。 ●その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	—
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。(高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します)	**記録画素数・画像横縦比設定** **記録画素数・画像横縦比を選び、タッチする** ●記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 記録画素数 / 4:3 3M / 3:2 2.5M / 16:9 2M / 戻る ●[クオリティ]は自動で[ ]になります。 ●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ●ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞]
高速連写 高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** **1 記録画素数・画像横縦比を選び、タッチする** ●記録画素数は2M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 記録画素数 / 4:3 2M / 3:2 2.5M / 16:9 2M / 戻る **2 撮影する** ●シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>高速連写
（つづき）</td><td>最高連写速度：約6コマ/秒
連写枚数：約20枚（内蔵メモリー）、
約20枚～100枚※（カード）
※最大100枚となります。

●連写速度は、撮影条件によって変化します。
●連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。
●フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。

●[クオリティ]は自動で[ ]になります。
●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
●シャッタースピードは1/8～1/2000秒になります。
●ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。
[5 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞]
●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。
●[ISO感度]は[ISO500]から[ISO800]の間で自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。</td></tr>
<tr><td>星空

星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。</td><td>シャッタースピード設定
シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。
1　秒数を選び、タッチする
●クイックメニュー（P22）でも、秒数の変更ができます。
シャッタースピード
15秒　30秒　60秒
戻る
2　撮影する
●シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。
カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
15
中止 MENU SET
●撮影中に[MENU/SET]を押すと、撮影が中止されます。

撮影のテクニック
●15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

●[手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。
●[ISO感度]は[ISO100]に固定されます。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ●シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 ●被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ●シャッタースピードは以下のようになります。 ・手ブレ補正[OFF]設定時:2秒 ・手ブレ補正[MODE1]または[MODE2]設定時: 1/4秒または2秒(シャッタースピードが2秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです) ・露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。 ●AFエリアは表示されません。 ●[ISO感度]は[ISO100]に固定されます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ●ぬれた手で触らないでください。 ●砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	―
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ●雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト(濃淡)の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 ●ピントが合う範囲は5 m~∞です。 ●**離着陸時は電源を[OFF]にしてください。** ●**ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。** ●窓への写り込みにお気をつけください。

撮影モード：[動画]　▲/▼/◀/▶はジョイスティックの上下左右を表しています

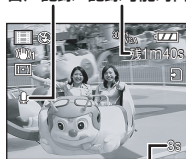
動画を撮る（[動画]：動画撮影モード）

1 撮影/再生切換スイッチを[iA/撮影]にし、[MODE]を押す

2 [動画]をタッチする

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

- シャッターボタンを全押ししたあと、すぐに離してください。押し続けると、記録開始時の数秒間、音声が録音されません。
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント･ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。（音声なしで動画を記録することはできません）

音声記録　記録可能時間　記録経過時間
残1m40s
3s

4 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

画像横縦比･画質設定を変更する場合

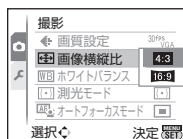
1 [MENU/SET]を押す

2 ▲/▼で[画像横縦比]を選び、▶に傾ける

3 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼で[画質設定]を選び、▶に傾ける

撮影
画質設定
画像横縦比　4:3　16:9
ホワイトバランス
測光モード
オートフォーカスモード
選択　決定

撮影
画質設定　30fps VGA　10fps VGA　30fps QVGA　10fps QVGA
画像横縦比
ホワイトバランス
測光モード
オートフォーカスモード
選択　決定

5 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

手順3で[4:3]を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps VGA ※	640×480画素	30コマ/秒
10fps VGA ※	640×480画素	10コマ/秒
30fps QVGA	320×240画素	30コマ/秒
10fps QVGA	320×240画素	10コマ/秒

手順3で[16:9]を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps 16:9H ※	1280×720画素	30コマ/秒
15fps 16:9H ※	1280×720画素	15コマ/秒
30fps 16:9L ※	848×480画素	30コマ/秒
10fps 16:9L ※	848×480画素	10コマ/秒

- 30コマ/秒の場合は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- 10コマ/秒の場合は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [30fps 16:9H]または[15fps 16:9H]は、D端子接続用コンポーネントケーブル(別売:DMW-HDC1)を使用すると高画質な動画をテレビでお楽しみいただけます。詳しくは、106ページの「D端子付きテレビで見る」をお読みください。
- [10fps QVGA]は、ファイルサイズが小さいので、メールなどに添付するのに適しています。

※内蔵メモリーには記録できません。

6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- 記録可能時間については126ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- [画質設定]を[30fps VGA]、[30fps 16:9H]、[15fps 16:9H]または[30fps 16:9L]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 動画撮影モードでは、以下の機能が使えません。
  - ・[オートフォーカスモード]の[顔]、縦位置検出機能、[手ブレ補正]の[MODE2]
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。

撮影モード：iA P A S M SCN 動画　▲/▼/◀/▶はジョイスティックの上下左右を表しています

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）が記録されます。記録された経過日数は、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P90）で撮影画像に焼き込むことができます。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って経過日数をプリントすることができます。

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、▶に傾ける

セットアップ
スピーカー音量 LEVEL3
ガイドライン表示
ヒストグラム表示 OFF
トラベル日付 OFF
エコモード 設定
選択 決定 MENU SET

2 ▼で「設定」を選び、[MENU/SET]を押す

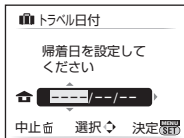
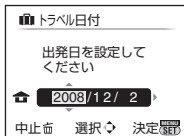
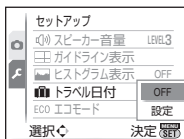
3 ▲/▼/◀/▶で出発日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

トラベル日付
出発日を設定してください
2008/12/ 2
中止 選択 決定 MENU SET

4 ▲/▼/◀/▶で帰着日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す
- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]を押してください。

トラベル日付
帰着日を設定してください
----/--/--
中止 選択 決定 MENU SET

5 [MENU/SET]を押して終了する

6 撮影する
- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[トラベル日付アイコン]が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**2**の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET]を２回押してください。

お知らせ
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム（P65）を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 出発日より前は、オレンジ色で－（マイナス）付きで表示され、日付情報は記録されません。
- 海外旅行などで、出発日以降に旅行先の日付を１日戻した場合、白色で－（マイナス）と表示され、日付情報は記録されます。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。

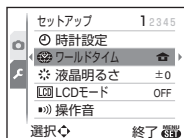
海外旅行先の日時を記録する(ワールドタイム)

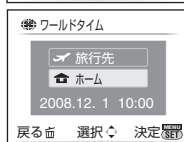
旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ[時計設定](P19)で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選び、▶に傾ける

● お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET]を押し、手順**3**の画面から設定してください。

セットアップ 1 2345
時計設定
ワールドタイム
液晶明るさ ±0
LCDモード OFF
操作音
選択 終了

2 ▼で「ホーム(お住まいの地域)」を選び、[MENU/SET]を押す

ワールドタイム
旅行先
ホーム
2008.12. 1 10:00
戻る 選択 決定

3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

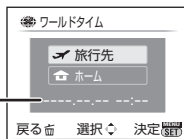
● ホームがサマータイム[ ](夏時間)を採用している場合は、▲に傾けてください。もう一度傾けると元に戻ります。

● ホームでのサマータイム設定は、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。

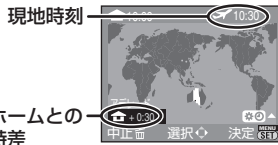
現在時刻 10:00
GMT(グリニッジ標準時)との時差 GMT+9:00
中止 選択 決定

4 ▲で[旅行先]を選び、[MENU/SET]で決定する

ワールドタイム
旅行先
ホーム
----.--.-- --:--
戻る 選択 決定

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

5 ◀/▶で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET]で決定する

● 旅行先がサマータイム[ ](夏時間)を採用している場合は、▲に傾けてください。(時計が1時間進みます)もう一度▲に傾けると元に戻ります。

現地時刻 10:30
ホームとの時差 +0:30
中止 選択 決定

6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

● 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。

● すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

● 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に[ ]が表示されます。

撮影メニューを使う

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>記録画素数

記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。</td><td>
使えるモード：iA P A S M SCN

画像横縦比：[4:3]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>10M (10M)</td><td>3648×2736画素</td></tr>
<tr><td>7M (7M EZ)※</td><td>3072×2304 画素</td></tr>
<tr><td>5M (5M EZ)</td><td>2560×1920画素</td></tr>
<tr><td>3M (3M EZ)</td><td>2048×1536画素</td></tr>
<tr><td>2M (2M EZ)※</td><td>1600×1200画素</td></tr>
<tr><td>0.3M (0.3M EZ)</td><td>640×480画素</td></tr>
</table>
画像横縦比：[3:2]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>9M (9M)</td><td>3648×2432画素</td></tr>
<tr><td>6M (6M EZ)※</td><td>3072×2048 画素</td></tr>
<tr><td>4.5M (4.5M EZ)</td><td>2560×1712画素</td></tr>
<tr><td>2.5M (2.5M EZ)</td><td>2048×1360画素</td></tr>
</table>
画像横縦比：[16:9]のとき
<table>
<tr><th>項目</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>7.5M (7.5M)</td><td>3648×2056画素</td></tr>
<tr><td>5.5M (5.5M EZ)※</td><td>3072×1728画素</td></tr>
<tr><td>3.5M (3.5M EZ)</td><td>2560×1440画素</td></tr>
<tr><td>2M (2M EZ)</td><td>1920×1080画素</td></tr>
</table>
※インテリジェントオートモード時は設定できません。

●EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
●デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。

画素が多い（きめ細かい）
画素が少ない（粗い）

※画像は効果を説明するためのイメージです。
●画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
●シーンモードの[高感度]または[高速連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
●被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
●記録可能枚数については、126ページをお読みください。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>クオリティ

画像を保存するときの圧縮率を設定します。</td><td>使えるモード：P A S M SCN
[ ]： ファイン(画質を優先するとき)
[ ]： スタンダード(標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき)
●記録可能枚数については、126ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>画像横縦比

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。</td><td>使えるモード：iA P A S M SCN
[4:3]： 4:3テレビの横縦比
[3:2]： 一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]： ハイビジョンテレビなどの横縦比
[4:3]設定時 [3:2]設定時(静止画のみ) [16:9]設定時
●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P119)</td></tr>
<tr><td>ISO
インテリジェントISO

被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。</td><td>使えるモード：P A
[OFF]、[ISOMAX 400]、[ISOMAX 800]、[ISOMAX 1600]
●ISO感度の上限を設定できます。
●ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。
●フラッシュで撮影できる範囲については、43ページをお読みください。
●明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。
●動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき、シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは、動きを検出できないことがあります。
●ノイズが気になるときは、最高ISO感度を低くするか、[画質調整]の[ノイズリダクション]をプラス方向にする、または[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。(P74)</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ

ISO ISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

使えるモード: P A S M

[AUTO]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]

ISO感度	100 ⟷	1600
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

- [AUTO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO400](フラッシュ使用時は[ISO1000])までの範囲で自動設定します。
- シーンモードの[高感度]では、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します。
- マニュアル露出時は[AUTO]の選択はできません。
- [インテリジェントISO]設定時は、使用できません。([i ISO]が表示されます)
- [ISO100]に設定すると[暗部補正]は解除されます。
- ノイズが気になるときは、ISO感度を低くするか、[画質調整]の[ノイズリダクション]をプラス方向にする、または[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。(P74)

WB ホワイトバランス

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

使えるモード: P A S M SCN 動画

[AWB]: 自動調整
[☼]: 晴天の屋外での撮影時
[曇]: 曇りの屋外での撮影時
[日陰]: 屋外の晴天下の日陰での撮影時
[白熱灯]: 白熱灯下での撮影時
[手動]: [手動SET]で設定した値を使用
[手動SET]: 手動で設定

- 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[手動SET]をご使用ください。

オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

10000 K
9000 K — テレビ画面
8000 K
7000 K — 日陰
曇り空
6000 K
5000 K — 太陽光
白色蛍光灯
4000 K — 日の入前・日の出後、2時間
日の入前・日の出後、1時間
ハロゲン電球
3000 K — 日の入前・日の出後、30分
白熱電球
2000 K — 日の出・日の入前
ろうそく

青っぽい色
白っぽい色
赤っぽい色
オートホワイトバランスが働く範囲

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>WB ホワイトバランス（つづき）</td><td>
手動で設定する
1 [SET]を選び、[MENU/SET]を押す
2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET]を押す
3 設定後、[ ]を選ぶ
セットモード 戻る 設定 MENU SET
●電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）
ホワイトバランス微調整（WB±）
ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。
●ホワイトバランスを[ ]/[ ]/[ ]/[ ]/[ ]に設定してください。
1 ▲( )に数回傾け、[WB± WB微調整]を表示させ、◀/▶でホワイトバランスを調整する
◀：赤（青みが強い場合）
▶：青（赤みが強い場合）
●ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0”を選んでください。
WB± WB微調整 赤 0 青 調整 終了 MENU SET
2 [MENU/SET]を押して終了する
●シャッターボタン半押しでも終了できます。
●ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
●ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
●ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
●電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
●セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[ ]（セットモード）の微調整レベルは“0”に戻ります。
</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>[(•)]測光モード

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。</td><td>使えるモード：P A S M [動画]

[(•)]（評価測光）：
画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。
[( )]（中央重点測光）：
画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[•]（スポット測光）：
スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。

スポット測光ターゲット

● インテリジェントオートモードでは、[(•)]に固定されます。
● [(•)]選択時、オートフォーカスモードを[顔認識]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。</td></tr>
<tr><td>AF
オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。</td><td>使えるモード：P A S M SCN [動画]

[顔認識]（顔認識）：
人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

[9点]（9点）：
最大9点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。

[3点高速]（3点高速）：
左、中央、右の3点いずれかに高速でピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。

[1点高速]（1点高速）：
中央のAFエリア内に高速でピントを合わせます。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
オートフォーカスモード（つづき）	[■]（1点）： 中央のAFエリア内にピントを合わせます。 [•]（スポット）： 限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。 **について** 黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。 白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。 ● 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[▦]に切り換わります。 ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている ・顔の陰影が少ない　・動きが速い ・被写体が人物以外である　・手ブレしている ・デジタルズーム使用時 **、について** ● 他のオートフォーカスモードより速くピントを合わせることができます。 ● シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。 ● AFエリアが複数（最大9個）点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[]、[■]または[•]に切り換えてください。 ● [▦]または[]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。 ● [•]でピントが合いにくいときは、[]または[■]に切り換えてください。 ● 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを[]以外に設定してください。 ● シーンモードの[花火]ではオートフォーカスモードの設定はできません。 ● シーンモードの[夜景]、[料理]、[星空]、[空撮]、動画撮影モードでは[]に設定できません。

応用・撮影

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>Q-AF クイックAF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。</td><td>使えるモード： P A S M SCN

[OFF]、[ON]

● [ON]に設定すると、画面に[Q-AF]が表示されます。
● タッチAF/AE時は働きません。</td></tr>
<tr><td>連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
撮影後にお気に入りの画像を選んでください。</td><td>使えるモード： iA P A S M SCN

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>[OFF]</th><th>[連写]（通常）</th><th>[フリー連写]（フリー）</th></tr>
<tr><td colspan="2">連写速度</td><td>—</td><td>2.5コマ/秒※</td><td>約2コマ/秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連写枚数</td><td>（ファイン）</td><td>—</td><td>最大3コマ</td><td rowspan="2">内蔵メモリー/カードの空き容量による</td></tr>
<tr><td>（スタンダード）</td><td>—</td><td>最大5コマ</td></tr>
</table>
※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。
● 上記の連写速度は、シャッタースピードが1/60より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

● フリー連写について
・途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
・内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
● ピントは1枚目で固定されます。
● [連写]設定時、1枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[フリー連写]設定時、1枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
● セルフタイマー使用時の連写設定は、3枚に固定されます。
● 屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
● 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなる場合があります。
● 連写設定は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
● 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
● 連写を設定すると、フラッシュは[発光禁止]になります。
● 連写を設定すると、オートブラケットは解除されます。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
i◐暗部補正（インテリジェント暗部補正） 背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。	使えるモード：P A S M [OFF]、[ON] ● [ON]に設定すると、画面に[i◐]が表示されます。 ● [ISO感度]が[ISO100]のときに、[暗部補正]を[ON]に設定すると[ISO感度]は[AUTO]になります。 ● マニュアル露出時に[ISO感度]を[ISO100]に設定している場合は、[暗部補正]の設定ができません。 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
デジタルズーム 光学ズーム、またはEX光学ズームよりも、さらに拡大することができます。	使えるモード：P A S M SCN 動画 [OFF]、[ON] ● 詳しくは、34ページをお読みください。 ● ズーム時に手ブレが気になるときは、手ブレ補正を[MODE 1]に設定することをおすすめします。
カラーエフェクト 撮影する画像の色彩効果を設定します。	使えるモード：iA P A S M 動画 [OFF]：　標準的な設定です。 [白黒]：　白黒画像 [セピア]：　セピア色の画像 [クール]：　青っぽい画像 [ウォーム]：赤っぽい画像 ● インテリジェントオートモード時は[白黒]または[セピア]のみ選択できます。 ● インテリジェントオートモードは他の撮影モードとは別に設定されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>画質調整

撮影する画像の画質を調整します。</td><td>使えるモード：PASM

[コントラスト]：
[+]：画像の明暗差を大きくします。
[−]：画像の明暗差を小さくします。
[シャープネス]：
[+]：画像の輪郭を強調します。
[−]：画像の輪郭を柔らかくします。
[彩度]：
[+]：派手で鮮やかな色になります。
[−]：落ち着いた色になります。
[ノイズリダクション]：
[+]：ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
[−]：ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

●暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。</td></tr>
<tr><td>手ブレ補正

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。</td><td>使えるモード：iA P A S M SCN

[OFF]
[MODE1]：撮影モード時、常に手ブレを補正します。
[MODE2]：シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。

●以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
・デジタルズーム領域
・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
●シーンモードの[自分撮り]では[MODE2]、シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。
●インテリジェントオートモード時は、[OFF]に設定できません。
●動画撮影モード時は、[MODE2]に設定できません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>MIN 下限シャッター速度

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。</td><td>使えるモード: P

[1/250]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]

<table><tr><th>下限シャッター速度設定</th><td>1/250秒 ⇔ 1秒</td></tr><tr><th>明るさ</th><td>暗くなる　明るくなる</td></tr><tr><th>手ブレ</th><td>少ない　多い</td></tr></table>
● 通常は、[1/8]に設定して、お使いください。([1/8]以外を選択した場合、画面に[MIN]が表示されます)
● [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
● [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをおすすめします。適正露出でないとき、シャッターボタンを半押しすると[MIN]が赤く点滅します。</td></tr>
<tr><td>音声記録

撮影と同時に音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。</td><td>使えるモード: P A S M SCN

[OFF]: 録音されません。
[ON]: 画面に [] が表示されます。
撮影と同時に録音を開始します。
(約5秒後に終了します)

● 録音中に[MENU/SET]を押すと中止されます。
● 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。</td></tr>
<tr><td>AF AF補助光

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。</td><td>使えるモード: P A S M SCN

[OFF]: 点灯しません。
[ON]: 暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。
(大きなAFエリアが表示されます)

● 補助光の有効距離は1.5 mです。
● 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。

AF補助光ランプ</td></tr>
<tr><td>時計設定

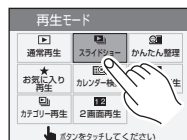
年・月・日・時刻を設定、または変更することができます。</td><td>セットアップメニューの[時計設定]と同じ機能です。</td></tr>
</table>

再生モード：▶

画像を順番に再生する（スライドショー）

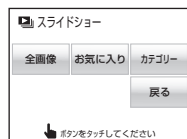
撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、カテゴリーで分類した画像や、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [スライドショー]をタッチする

3 項目を選び、タッチする

[全画像]：全画像をスライドショー再生します。

[お気に入り]：[★]の付いた画像をスライドショー再生します。
[お気に入り]設定済みの画像があるときのみ選択できます。

[カテゴリー]：**再生したいカテゴリーをタッチする**
選択したカテゴリーをスライドショー再生します。

4 [開始]をタッチする

5 [終了]をタッチしてスライドショーを終了する

■ スライドショー中の操作

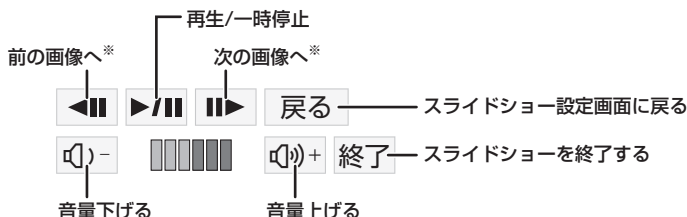
1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する

●約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

100−0001
コントロールパネル

2　コントロールパネルをタッチして操作する

再生/一時停止
前の画像へ※
次の画像へ※
戻る — スライドショー設定画面に戻る
終了 — スライドショーを終了する
音量下げる
音量上げる

※一時停止中のみ操作できます。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショー設定画面で、スライドショー再生時の[効果]や[音楽]の設定を変更することができます。

スライドショー設定画面

開始
設定
戻る
プレビュー
効果：おまかせ
音楽：おまかせ

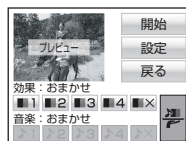
[効果]

画像切り換え時の画面効果を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

●[アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。

[音楽]

スライドショー再生時の音楽を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

●[ ](おまかせ)は[カテゴリー]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果と音楽で再生します。
●[プレビュー]をタッチするとプレビュー画面が表示されます。中止したい場合は、[中止]をタッチしてください。
●[効果]を選ぶと同じ名前の[音楽]が設定されます。[効果]を選んだあとに[音楽]を選んでください。

再生モード：▶

画像を順番に再生する（スライドショー）（つづき）

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音声]	ON、OFF

- [再生間隔]は、[効果]を [OFF]にしているときのみ設定できます。
- [音声]は、[音楽]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。[音声]を[ON]に設定すると、音声付き静止画の音声が再生されます。

お知らせ

- スライドショーでは動画再生できません。
- 音楽効果を追加することはできません。

再生モード：▶

複数の画像を一覧表示する（マルチ画面再生）

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [マルチ画面再生]をタッチする

- ズームレバーを[▪▪](W)側に数回回しても、マルチ再生表示画面にできます。

3 画像を選び、タッチする

- [▪▪]をタッチすると12画面、[▪▪]をタッチすると30画面に切り換えることができます。
- [▲]/[▼]をタッチ、またはスライドバーを上下にドラッグ(P13)すると画面を切り換えることができます。

選択画像番号/トータル枚数

1/26

▲ ▼ 戻る

スライドバー

再生モード：▶

画像を撮影日ごとに表示する（カレンダー検索）

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [カレンダー検索]をタッチする

● ズームレバーを[▦](W)側に数回回しても、カレンダー検索表示画面にできます。

3 再生する日付をタッチする

● 撮影した画像が１枚もない月は表示されません。

前の月へ　次の月へ

4 画像を選び、タッチする

● [戻る]をタッチすると、カレンダー検索表示画面に戻ります。
● [▲]/[▼]をタッチ、またはスライドバーを上下にドラッグ(P13)すると画面を切り換えることができます。

スライドバー

お知らせ

● はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
● 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
● カレンダーの表示できる範囲は、2000年１月から2099年12月までです。
● [時計設定]を行わずに撮影した場合、2008年１月１日に表示されます。
● [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生モード：▶

画像を並べて再生する（2画面再生）

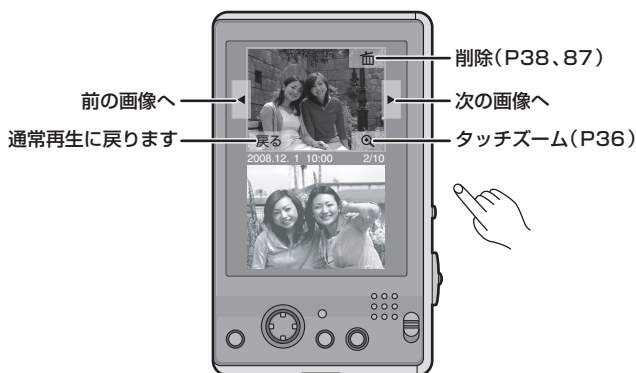
撮影した画像を2枚並べて表示して、比較することができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [2画面再生]をタッチする

● 撮影した画像が1枚以下のとき、[2画面再生]を選択できません。

3 上または下の画像を選び、タッチする

削除（P38、87）
前の画像へ
次の画像へ
通常再生に戻ります
タッチズーム（P36）
戻る
2008.12. 1 10:00
2/10

● ジョイスティックを▲/▼/◄/►に傾けても画像を選ぶことができます。
● 同じ画像を同時に表示することはできません。

お知らせ

● 再生メニュー（P90）とセットアップメニューは使えません。
● [回転表示]を[ON]に設定すると、本機を縦に構えて撮影した画像や、回転させた画像は縦向きに表示されます。

再生モード：▶

画像を選んで再生する（カテゴリー再生/お気に入り再生）

カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー（人物·風景·夜景など）を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [カテゴリー再生]をタッチする

3 再生するカテゴリーをタッチする

- 画像が見つかったカテゴリーのみ再生できます。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に[戻る]をタッチすると、途中で検索が中止されます。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー検索中
カテゴリーをタッチしてください
戻る

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(人物アイコン)	人物、i人物、美肌、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん
(風景アイコン)	風景、i風景、夕焼け、空撮
(夜景アイコン)	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
(イベントアイコン)	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(赤ちゃんアイコン)	赤ちゃん
(ペットアイコン)	ペット
(料理アイコン)	料理
(トラベルアイコン)	トラベル日付
(動画アイコン)	動画

- 動画から作成された静止画は、カテゴリー再生の動画から再生することはできません。

お気に入り再生

[お気に入り]設定（P83）した画像を再生することができます。（[お気に入り]設定済みの画像があるときのみ）

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [お気に入り再生]をタッチする

お知らせ

- 再生メニューは[画像回転]、[回転表示]、[DPOFプリント]、[プロテクト]、[アフレコ]のみ使えます。

再生モード：▶

画像を整理する（かんたん整理）

タッチパネルを使って簡単に画像のお気に入り設定、タッチズーム、編集や削除を行うことができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 [かんたん整理]をタッチする

■ [かんたん整理]画面

10M
100–0001
1/9
2008.12. 1 10:00
設定項目
前の画像へ
サムネイル
次の画像へ

● ジョイスティックを◀/▶に傾けても画像を送ることができます。

設定項目		
★	お気に入り（P83）	
🔍	タッチズーム（P36）	
編集アイコン	編集	リサイズ（P84）
		トリミング（P85）
		タイトル編集（P86）
🗑	削除（P87）	

お知らせ
● [リサイズ]または[トリミング]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。
● 再生メニュー（P90）とセットアップメニューは使えません。

★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を削除する。([★以外全削除])

1 画面下のサムネイルから画像を選び、タッチする

2 [★]をタッチする

- もう一度[★]をタッチすると設定が解除されます。

100–0001
1/9
2008.12. 1 10:00

100–0001
1/9
2008.12. 1 10:00

お知らせ

- 999枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除](P38)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。

再生モード：▶

画像を整理する（かんたん整理）（つづき）

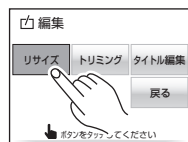
編集

リサイズ　画像サイズ(画素数)を小さくする

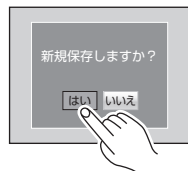
画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M]にリサイズすることをおすすめします。(各画像横縦比の最低画素数に設定している画像は、それ以上小さくできません)

1 画面下のサムネイルから画像を選び、タッチする

2 [編集アイコン]をタッチする

3 [リサイズ]をタッチする

4 サイズを選び、タッチする

- リサイズできるサイズのみ表示されます。

5 [はい]をタッチする

お知らせ

- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

トリミング

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 画面下のサムネイルから画像を選び、タッチする

2 [ ]をタッチする

3 [トリミング]をタッチする

4 切り抜く部分を選ぶ

[ ]をタッチ：　拡大
[ ]をタッチ：　縮小
ドラッグ(P13)または
[▲]/[▼]/[◀]/[▶]をタッチ：移動

- ズームレバーとジョイスティックでも操作できます。

縮小　拡大

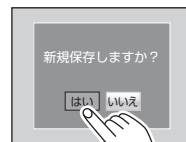
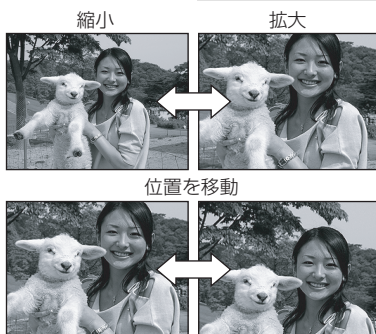
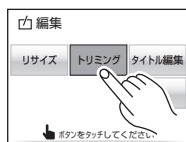
位置を移動

5 [決定]をタッチする

6 [はい]をタッチする

新規保存しますか？
はい　いいえ

お知らせ

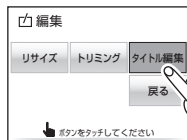
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

画像を整理する（かんたん整理）（つづき）

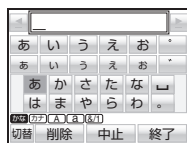
タイトル編集

撮影画像に文字(コメント)を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み](P90)で撮影画像に焼き込むことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)
指で操作しにくい場合は、タッチペン(付属)をお使いください。

1 画面下のサムネイルから画像を選び、タッチする

2 [凸]をタッチする

3 [タイトル編集]をタッチする

4 文字を入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [切替]をタッチすると、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、&/1(記号/数字)に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、[◀]をタッチすると左に、[▶]をタッチすると右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[␣]、入力した文字を削除したいときは[削除]をタッチしてください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[中止]をタッチしてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ：　最大15文字
  - ・A/a/&/1※：　最大30文字
  - ※[＼]、[「]、[」]、[・]、[ー]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字です。

5 [終了]をタッチする

■ タイトルを削除する

1 手順4ですべての文字を削除する

2 [終了]をタッチする

文字入力例
「パリ」と入力する場合: ❶ [切替]をタッチし、カナに切り替える ❷ 下の段の「ハ」をタッチする ❸ 上の段の「ハ」をタッチする ❹ 上の段の「゜」をタッチし、「パ」にする ❺ 下の段の「ラ」をタッチする ❻ 上の段の「リ」をタッチしたあと、[終了]をタッチする

上の段
下の段
切替 削除 中止 終了

お知らせ

- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前も、手順4以降の操作で登録できます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前と[タイトル編集]を同時に登録することはできません。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- 他機で撮影された画像はタイトル編集できません。

削除

画像は一度削除すると元に戻すことができません。

- カードが入っているときは、カードの画像を削除します。
- 複数または全画像を削除するには、38ページをお読みください。

1 画面下のサムネイルから画像を選び、タッチする

2 [ ]をタッチする

100-0001
1/9
2008.12. 1 10:00

3 [はい]をタッチする

この画像を
削除しますか?
はい いいえ

応用・再生

再生モード：▶

動画/音声付き静止画を見る

動画

動画[🎞]を選び、[▶]をタッチして再生する

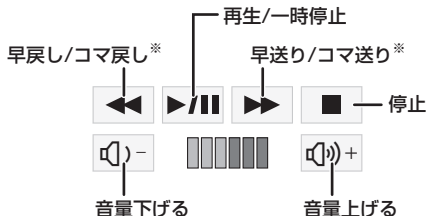
動画アイコン
動画記録時間

● 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
例）1時間20分30秒のとき：1h20m30s

■ 動画再生中の操作

1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する
● 約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

2　コントロールパネルをタッチして操作する

再生/一時停止
早戻し/コマ戻し※
早送り/コマ送り※
停止
音量下げる
音量上げる

※一時停止中のみ操作できます。

音声付き静止画

音声付き静止画[♪]を選び、[▶]をタッチして再生する

音声付き静止画アイコン

● 音声付き静止画の作成方法は、音声記録（P75）、アフレコ（P97）をお読みください。

お知らせ

● スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量]（P24）をお読みください。
● 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEGです。
● 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。
● パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEGファイルは本機で再生できない場合があります。
● 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
● 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

動画から静止画を作成する

撮影した動画から、1枚の静止画（1画面または9画面）を作成できます。スポーツのフォームチェックなど、動きのあるシーンに効果的です。

1 動画再生中に[▶/II]をタッチして、一時停止にする

- 表示されている画像を1枚の静止画として保存するには→手順3へ
- 動画を9画面の1枚の静止画として保存するには→手順2へ

2 [MENU/SET]を押して9画面表示にする

コマ送りにする
▲/▼：3画像ずつ送る
◀/▶：1画像ずつ送る

1秒あたりのコマ数を変える
ズームレバーを[▦]（W）側に回す

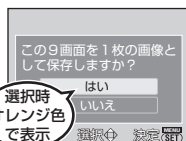
画質	1秒あたりのコマ数
30fps VGA / 30fps QVGA / 30fps 16:9H / 30fps 16:9L	30→15→10→5
15fps 16:9H	15→5
10fps VGA / 10fps QVGA / 10fps 16:9L	10→5

9画面表示を終了するには
[MENU/SET]を押す

例）30コマ：1/30秒ごとの画像を静止画で表示

3 シャッターボタンを押す

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

選択時オレンジ色で表示

記録画素数

記録画素数は以下のとおりです。

項目	1画面	9画面
30fps VGA / 10fps VGA	0.3 M	2 M
30fps QVGA / 10fps QVGA	0.3 M	1 M
30fps 16:9H / 15fps 16:9H / 30fps 16:9L / 10fps 16:9L	2 M	2 M

- [クオリティ]は[▪▪]になります。

お知らせ
- 他機で撮影された動画は静止画で保存することができない場合があります。

再生モード：▶　▲/▼/◀/▶はジョイスティックの上下左右を表しています

再生メニューを使う

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

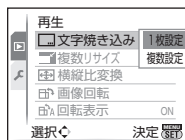
- [文字焼き込み]、[複数リサイズ]または[横縦比変換]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、月齢/年齢、トラベル日付、タイトルを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。（記録画素数が[3M]より大きい画像はリサイズされます）

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

再生
文字焼き込み　1枚設定
複数リサイズ　複数設定
横縦比変換
画像回転
回転表示　ON
選択　決定

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- 文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定（繰り返す）し、[MENU/SET]を押して決定する

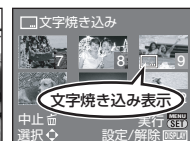
- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

文字焼き込み　100−0001　1/9
戻る　選択　決定

◀/▶で選びます。

[複数設定]

文字焼き込み
7　8　9
文字焼き込み表示
中止　実行
選択　設定/解除

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で[撮影日時]、[月齢/年齢]、[トラベル日付]または[タイトル]を選び、[MENU/SET]を押してそれぞれの項目を設定する

[撮影日時] 日付:年月日を焼き込みます。 日時:年月日時分を焼き込みます。	**[トラベル日付]** [ON]に設定すると、トラベル日付を焼き込みます。
[月齢/年齢](P58) [ON]に設定すると、月齢/年齢を焼き込みます。	**[タイトル]** シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[タイトル編集]で文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

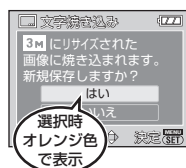
5 [MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[3M]より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - 10M/7M/5M → 3M(4:3)
  - 9M/6M/4.5M → 2.5M(3:2)
  - 7.5M/5.5M/3.5M → 2M(16:9)
- 画像は少し粗くなります。

6 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[3M]以下で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

(例)

文字焼き込み
3M にリサイズされた
画像に焼き込まれます。
新規保存しますか？
はい
いいえ
選択時オレンジ色で表示
決定 MENU SET

7 [🗑]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

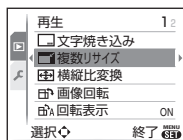
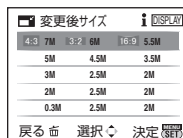
お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.3M]の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 他機で撮影された画像は文字や日付情報を焼き込むことができません。

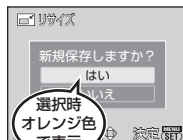
再生メニューを使う（つづき）

複数リサイズ　画像サイズ(画素数)を小さくする

画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M]にリサイズすることをおすすめします。(各画像横縦比の最低画素数に設定している画像は、それ以上小さくできません)

1 再生メニューから[複数リサイズ]を選ぶ

2 ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
- [DISPLAY]を押すと、リサイズの説明を表示します。

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]を押す
- この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

5 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ
- 一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

横縦比変換

[16:9]で撮影した画像を、プリント用に[3:2]または[4:3]に変換することができます。

1 再生メニューから[横縦比変換]を選ぶ

2 ▲/▼で[3:2]または[4:3]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で[16:9]の画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ◀/▶で左右の位置を決定し、[MENU/SET]を押して決定する

- 縦に回転されている画像は▲/▼で枠を移動できます。

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

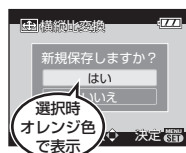
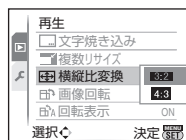
6 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

再生
文字焼き込み
複数リサイズ
横縦比変換
画像回転
回転表示
3:2
4:3
ON
選択
決定 MENU SET

横縦比 変換
100-0001
1/9
戻る
選択
決定

中止
枠移動
決定

横縦比変換
新規保存しますか？
はい
いいえ
選択時 オレンジ色 で表示
決定

お知らせ

- 横縦比変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は横縦比変換できない場合があります。

再生メニューを使う（つづき）

画像回転／回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

画像回転（画像を手動で回転する）

1 再生メニューから［画像回転］を選ぶ
- ［回転表示］を［OFF］に設定すると、［画像回転］は選択できません。

2 ◀/▶ で画像を選び、［MENU/SET］を押す
- 動画、プロテクトされた画像は回転できません。

3 ▲/▼ で回転方向を選び、［MENU/SET］を押す

↷：時計回りに90°回転します。
↶：反時計回りに90°回転します。

4 ［🗑］を押してメニュー画面に戻る
- ［MENU/SET］を押してメニューを終了します。

画像回転　100−0001　1/9　戻る　選択　決定

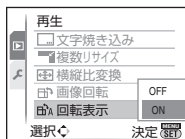
画像回転　戻る　選択　決定

回転表示（画像を自動で回転して表示する）

1 再生メニューから［回転表示］を選ぶ

2 ▼ で［ON］を選び、［MENU/SET］を押す
- ［OFF］に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、35ページをお読みください。

3 ［MENU/SET］を押してメニューを終了する

再生　文字焼き込み　複数リサイズ　横縦比変換　画像回転　回転表示　OFF　ON　選択　決定

お知らせ
- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。［Exifとは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです］
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

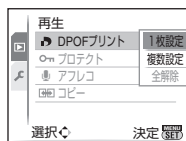
再生メニューの設定方法はP21へ

DPOFプリント

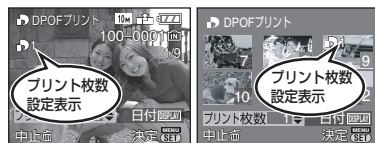
DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P98)してからDPOF設定してください。

1 再生メニューから[DPOFプリント]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

再生
DPOFプリント　1枚設定
プロテクト　複数設定
アフレコ　全解除
コピー
選択　決定

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]　[複数設定]

プリント枚数設定表示

◀/▶で選びます。　▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する

- [複数設定]選択時は、手順3、4を繰り返してください。(一括設定することはできません)

5 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [DPOFプリント]設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- [DPOFプリント]設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。
- 本機で日付プリントを設定した画像に文字焼き込みを行うと、設定が解除されます。

再生メニューを使う（つづき）

お知らせ

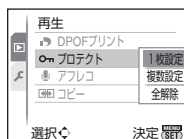
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 他機で設定した[DPOFプリント]設定は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

再生
DPOFプリント
プロテクト
アフレコ
コピー
1枚設定
複数設定
全解除
選択
決定 MENU SET

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時

- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

プロテクト
100–0001
1/9
プロテクト表示
終了
選択
設定/解除 MENU SET

◀/▶で選びます。

[複数設定]

プロテクト
7
9
10
12
プロテクト表示
終了
選択
設定/解除 MENU SET

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 [🗑]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 全解除中に[MENU/SET]を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。
- 画像をプロテクトしなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、削除はされません。

再生メニューの設定方法はP21へ

アフレコ

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 再生メニューから[アフレコ]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押して録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか？」と表示されます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押して録音を開始してください。(元の音声はなくなります)
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- [ ]を押すと中止されます。

アフレコ 10M 100–0001 1/9 戻る 選択 開始 MENU SET

3 [MENU/SET]を押して録音を終了する

- [MENU/SET]を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。

アフレコ 10M 100–0001 1/9 中止 終了 MENU SET

4 [ ]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。

再生メニューを使う（つづき）

再生メニューの設定方法はP21へ

コピー

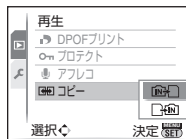
撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから［コピー］を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、［MENU/SET］を押す

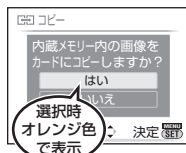
［IN→カード］：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順4へ

［カード→IN］：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→手順3へ

再生
DPOFプリント
プロテクト
アフレコ
コピー
選択　決定 MENU SET

3 ◀/▶で画像を選び、［MENU/SET］を押す

4 ▲で［はい］を選び、［MENU/SET］を押す

- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に［MENU/SET］を押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源を［OFF］にしないでください。

コピー
内蔵メモリー内の画像をカードにコピーしますか？
はい
いいえ
選択時オレンジ色で表示
決定 MENU SET

5 ［ゴミ箱］を押してメニュー画面に戻る

- ［MENU/SET］を押してメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー（約50 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- ［IN→カード］時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  ［カード→IN］時は、同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。（P111）
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した画像のみコピーされます。（当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります）
- DPOF設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使うと便利です。

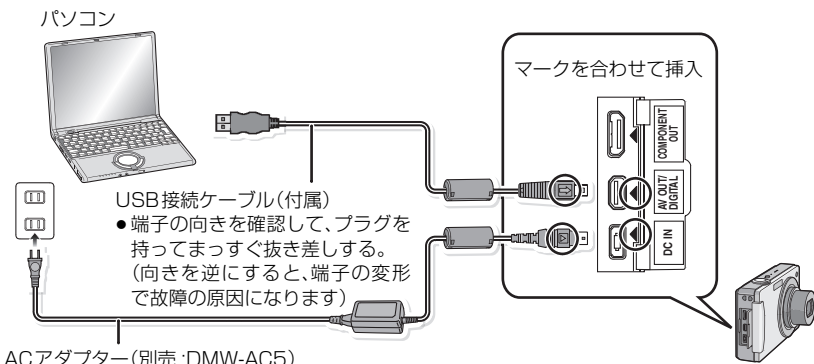
準備: 本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。
Windows®98/98SEをご使用の方は、USBドライバーのインストールを行っておく。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する

パソコン

マークを合わせて挿入

COMPONENT OUT
AV OUT/DIGITAL
DC IN

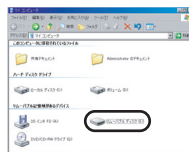
USB接続ケーブル(付属)
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

ACアダプター(別売 :DMW-AC5)
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P100)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

- セットアップメニューで[USBモード](P26)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

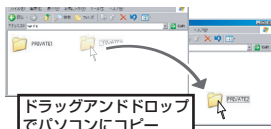
USB USB モード
USBモードを
選択してください
PictBridge(PTP)
PC
選択
決定 MENU SET

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。(「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます)

4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

パソコンと接続する（つづき）

5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップでパソコンにコピー

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

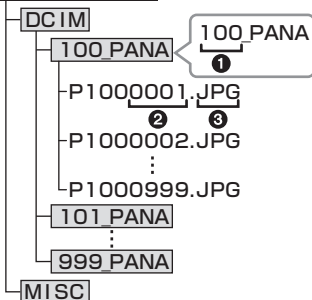
- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
  アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。
- 本機の電源を切ってからACアダプター（別売：DMW-AC5）を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS X v10.2以前のときは、SDHCメモリーカードから画像を取り込むときに、SDHCメモリーカードの書き込みスイッチを「LOCK」側にしてください。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

・内蔵メモリー
・カード

```
├DCIM
│ ├100_PANA   (100_PANA ❶)
│ │ ├P1000001.JPG  (P1000001 ❷ / .JPG ❸)
│ │ ├P1000002.JPG
│ │ │  ⋮
│ │ └P1000999.JPG
│ ├101_PANA
│ │  ⋮
│ └999_PANA
└MISC
```

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG：　画像
　 MOV：　動画
MISC：　DPOFプリント
　　　　お気に入り

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

- セットアップメニューの[番号リセット]（P25）実行後。
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合。（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合。

■ PTPモードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Mac OS Xのみ）

[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしてください。
カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。

- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

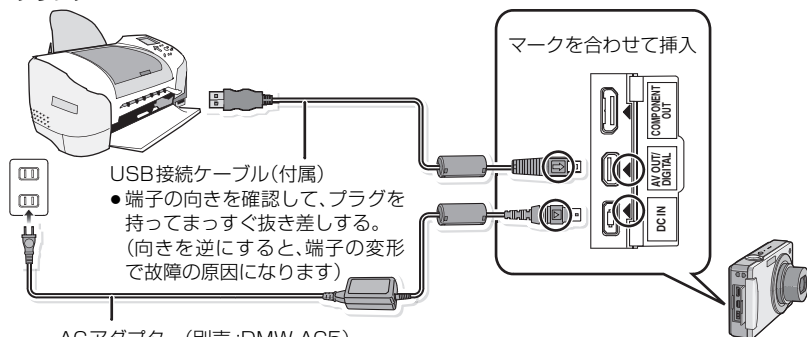
プリンター

マークを合わせて挿入

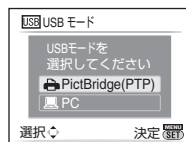
COMPONENT OUT

AV OUT/ DIGITAL

DC IN

USB接続ケーブル(付属)
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

ACアダプター(別売 :DMW-AC5)

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[]が表示されます。[]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

2 ▲/▼ で [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] を押す

USB USB モード
USBモードを
選択してください
PictBridge(PTP)
PC
選択
決定 MENU SET

お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。
- 本機の電源を切ってからACアダプター(別売:DMW-AC5)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて(または取り出して)から接続し直してください。

プリントする（つづき）

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

- メッセージは約2秒後に消えます。

PictBridge
100–0001
1/9
プリントする画像を選んでください
選択
複数プリント　プリント

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については103ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

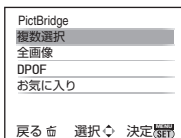
一枚選択
プリント開始
日付プリント OFF
プリント枚数 1
用紙サイズ
レイアウト
戻る　選択　決定

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲に傾ける

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

PictBridge
複数選択
全画像
DPOF
お気に入り
戻る　選択　決定

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY]を押すとプリントする画像に[ ]が表示されます。(もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
DPOF	[DPOFプリント]設定(P95)された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り]設定(P83)された画像のみをプリントします。

※[お気に入り]設定済みの画像があるときのみ(P83)

3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については103ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数選択
プリント開始
日付プリント OFF
プリント枚数 1
用紙サイズ
レイアウト
戻る　選択　決定

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)
- [DPOF]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

複数選択
プリント開始
日付プリント OFF
プリント枚数 1
用紙サイズ 🖶
レイアウト 🖶
戻る 選択 終了 MENU SET

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。

プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

プリントする（つづき）

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
[プリンター]	プリンターの設定が優先されます。
[1面ふちなし]	1面ふちなし印刷
[1面ふちあり]	1面ふちあり印刷
[2面]	2面印刷
[4面]	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[DPOFプリント]のプリント枚数設定時に[DISPLAY]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、または[タイトル編集]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

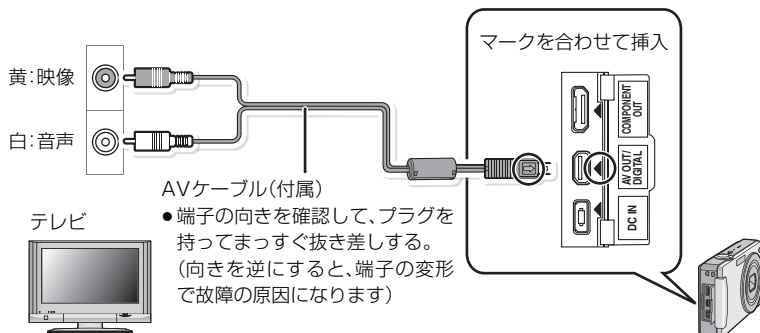
日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで見る

AV ケーブル（付属）を使って見る

準備：[TV画面タイプ]（P26）を設定する。
本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

2 本機の [AV OUT] 端子にAVケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、外部入力にする

4 本機の電源を [ON] にする

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- テレビ画面に表示されるタッチアイコンをタッチしても操作できません。

SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに撮影したSDメモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AVケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHC カードは SDHC カードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

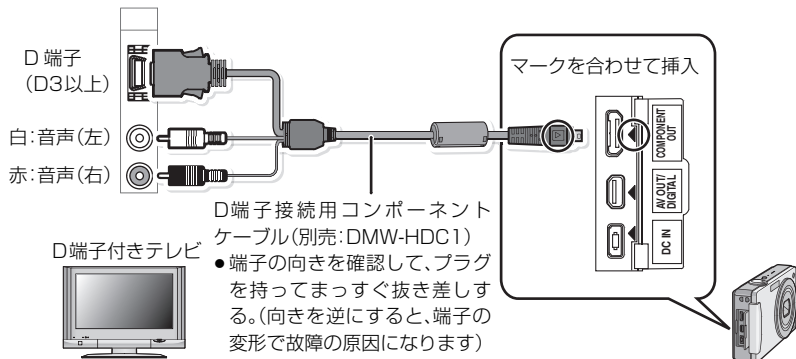
テレビで見る（つづき）

D端子付きテレビで見る

D端子接続用コンポーネントケーブル(別売:DMW-HDC1)を使って本機とテレビを接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。
接続するテレビがD端子付き(D3以上)であることを確認してください。

準備: 本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

D 端子
(D3以上)
白:音声(左)
赤:音声(右)
マークを合わせて挿入
COMPONENT OUT
AV OUT/DIGITAL
DC IN
D端子接続用コンポーネントケーブル(別売:DMW-HDC1)
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

D端子付きテレビ

1 **テレビのD端子と音声入力端子にD端子接続用コンポーネントケーブルを接続する**

2 **本機の[COMPONENT OUT]端子にD端子接続用コンポーネントケーブルを確実に接続する**

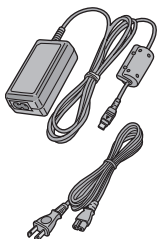
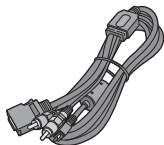
3 **テレビの電源を入れ、D端子入力にする**

4 **本機の電源を[ON]にする**

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 別売のD端子接続用コンポーネントケーブル(DMW-HDC1)以外は使わないでください。
- 音声はモノラルで出力されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- D端子接続用コンポーネントケーブル接続時、液晶モニターには操作画面などは表示されますが、静止画や動画は表示されません。
- D端子接続用コンポーネントケーブル接続時、使用できない再生モードや再生メニューなどがあります。(P114)
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの説明書もお読みください。

別売品のご紹介

品名・品番	
品名: バッテリーパック **品番:** DMW-BCE10	
品名: ACアダプター **品番:** DMW-AC5	
品名: 本革ケース **品番:** DMW-CX500	
品名: 本革ストラップ **品番:** DMW-NSTX1	
品名: D端子接続用コンポーネントケーブル **品番:** DMW-HDC1	
品名: SDメモリーカード SDHCメモリーカード	

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

海外旅行先で使う

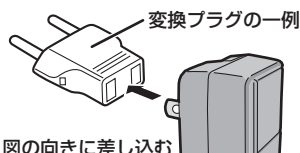
チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V〜240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

変換プラグの一例

図の向きに差し込む

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 海外のテレビで画像を見る

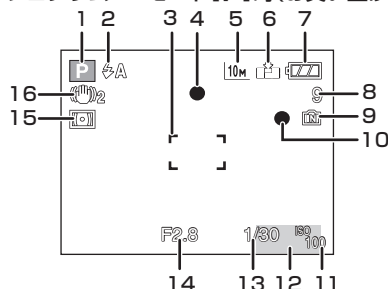
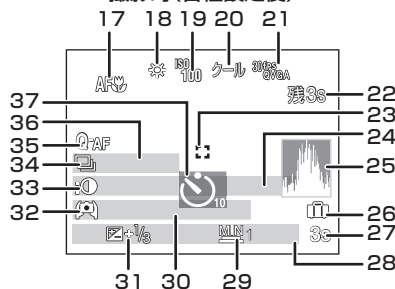
セットアップメニューの[ビデオ出力]で[NTSC]または[PAL]に設定してください。

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

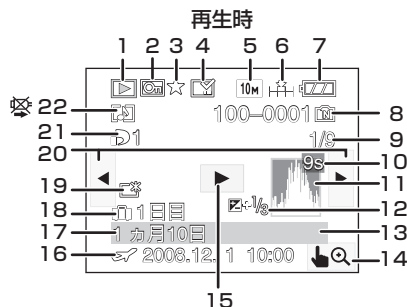
液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

プログラムAEモード[**P**]時(お買い上げ時)

撮影時(各種設定後)

■ 撮影時

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P41)
3 AF エリア(P33)
4 フォーカス(P33)
5 記録画素数(P66)
6 クオリティ(P67)
7 バッテリー残量(P16)
8 記録可能枚数(P126)
9 内蔵メモリー(P18)
　カード(P18):(記録時のみ表示)
10 記録動作
11 ISO感度(P68)
12 タッチAF/AE(P47):AFAE
13 シャッタースピード(P33)
14 絞り値(P33)
15 測光モード(P70)
16 手ブレ補正(P74)
　手ブレ警告(P33):
17 マクロ撮影(P45)
18 ホワイトバランス(P68)
19 ISO感度(P68)
　最高ISO感度(P67)
20 カラーエフェクト(P73)
21 画質設定(P62)
22 記録可能時間(P62):残XXhXXmXXs
23 スポットAFエリア(P71)
24 名前※1(P58)
25 ヒストグラム表示(P24、40)
26 トラベル日付(P64)
27 記録経過時間(P62)
　インテリジェントISO(P67):ISO
28 現在日時/旅行先設定(P65)※2:
　ズーム/EX光学ズーム(P34)/
　デジタルズーム(P34、73):
　EZ W T 1X
　逆光補正操作(P30):逆光補正
29 下限シャッター速度(P75)
30 月齢/年齢※1(P58)
31 露出補正(P53)
　逆光補正(P30):
32 ハイアングルモード(P23)
　パワーLCDモード(P23):
　オートパワーLCDモード(P23):
33 暗部補正(P73)
34 連写(P72)
　オートブラケット(P54):
　音声記録(P75):
35 クイックAF(P72)
　AF補助光(P75):AF
36 トラベル経過日数(P64)
37 セルフタイマーモード(P46)

※1 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で起動した場合に約5秒間表示されます。
※2 起動時/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

液晶モニターの表示（つづき）

再生時

■ 再生時

1 再生モード(P35)
2 プロテクト(P96)
3 お気に入り表示(P83)
4 文字焼き込み済み表示(P90)
5 記録画素数(P66)
画質設定(P62)
6 クオリティ(P67)
7 バッテリー残量(P16)
8 フォルダー・ファイル番号(P100)
内蔵メモリー(P18)
再生経過時間(P88)：XXhXXmXXs
9 画像番号/トータル枚数
10 動画記録時間(P88)：XXhXXmXXs
11 ヒストグラム表示(P24、40)
12 露出補正(P53)
13 撮影情報(P39)
14 タッチズーム(P36、82)
15 再生(動画、音声付き静止画)(P88)
16 撮影日時/旅行先設定(P65)
名前(P58)
タイトル(P86)
17 月齢/年齢(P58)
18 トラベル経過日数(P64)
19 パワーLCDモード(P23)
20 画像送り(P35)
21 DPOFプリント枚数(P95)
22 音声付き静止画(P88)
動画(P88)：
ケーブル切断禁止アイコン(P101)

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P18)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P96)削除をしてください。
削除できない画像があります/この画像は削除できません	DCF規格に準拠していない画像は削除できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)してください。
設定枚数をこえました	[複数削除](P38)、[お気に入り](P83)、[タイトル編集](P86)、[文字焼き込み](P90)、[複数リサイズ](P92)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が999枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[DPOFプリント]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合（カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ） ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット(P27)し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないカードです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)し直してください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	本機に対応したカードをお使いください。(P18) 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
メモリーカードエラー カードを確認してください	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。
リードエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
ライトエラー カードを確認してください	データの書き込みに失敗しました。電源を[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を[ON]にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	[画質設定]を[30fps VGA]、[30fps 16:9H]、[15fps 16:9H]または[30fps 16:9L]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P100) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P25)
4:3TV用で出力します/ 16:9TV用で出力します	● 本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET]を押してください。 ● [TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P26) ● USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P99、101)
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。

状況により設定できない/働かない機能

本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。
下の表は、その機能と状況の一覧です。

● インテリジェントオートモード時の設定できない/働かない機能については、31ページの「インテリジェントオートモード時の設定内容」をお読みください。

設定できない/働かない機能	主な設定できない/働かない状況
オートパワーLCD/ハイアングルモード(P23)	● ▶モード
パワーセーブ(P24)	● ACアダプター使用時 ● パソコンまたはプリンター接続時 ● 動画撮影/再生時 ● スライドショー時 ● 自動デモ
自動液晶OFF(P25)	● ACアダプター使用時 ● メニュー画面表示中 ● セルフタイマー設定時 ● 動画撮影時 ● パソコンまたはプリンター接続時
オートレビュー(P25)	● 🎞モード
EX光学ズーム(P34)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン] ● 🎞モード
デジタルズーム(P34)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン] ● [インテリジェントISO]設定時
タッチズーム(P36)	● 動画再生時 ● 音声付き静止画(音声再生時)
ヒストグラム表示(P24、40)	● 🎞モード ● マルチ画面再生 ● タッチズーム時 ● カレンダー検索
フラッシュ(P41)	● オートブラケット設定時 ● 連写時 ● SCNモードの[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン] ● 🎞モード
セルフタイマー(P46)	● SCNモードの[アイコン] ● 🎞モード
タッチAF/AE(P47)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン] ● 🎞モード ● [カラーエフェクト]の[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]設定時
露出補正(P53)	● Mモード ● SCNモードの[アイコン]
オートブラケット(P54)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン] ● 🎞モード
記録画素数(P66)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン] ● 🎞モード
クオリティ(P67)	● 🎞モード
画像横縦比(P67)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン]
インテリジェントISO(P67)	● Sモード ● Mモード ● SCNモード ● 🎞モード
ISO感度(P68)	● SCNモード ● 🎞モード ● [インテリジェントISO]設定時
ホワイトバランス(P68)	● SCNモードの[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]、[アイコン]
ホワイトバランス微調整(P69)	● [カラーエフェクト]の[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]設定時

状況により設定できない/働かない機能（つづき）

設定できない/働かない機能	主な設定できない/働かない状況
測光モード(P70)	● SCNモード
クイックAF(P72)	● SCNモードの 、、、 ● モード
連写(P72)	● SCNモードの 、 ● モード ● 音声記録
暗部補正(P73)	● SCNモード ● モード
カラーエフェクト(P73)	● SCNモード
画質調整(P74)	● SCNモード ● モード
下限シャッター速度(P75)	● Aモード ● Sモード ● Mモード ● SCNモード ● モード ● [インテリジェントISO]設定時
音声記録(P75)	● オートブラケット撮影時 ● 連写時 ● SCNモードの 、 ● モード
AF補助光(P75)	● SCNモードの 、、、、、
リサイズ(P84) 複数リサイズ(P92)	● 動画 ● 音声付き静止画 ● 文字焼き込みされた画像
トリミング(P85)	● 動画 ● 音声付き静止画 ● 文字焼き込みされた画像
タイトル編集(P86)	● 動画 ● プロテクトされた画像
文字焼き込み(P90)	● 時計を設定せずに撮影された画像 ● 動画 ● 音声付き静止画 ● 文字焼き込みされた画像
横縦比変換(P93)	● 3:2、4:3で撮影された画像 ● 動画 ● 音声付き静止画 ● 文字焼き込みされた画像
画像回転(P94)	● 動画 ● プロテクトされた画像
回転表示(P94)	● マルチ画面再生 ● カレンダー検索
日付プリント設定(P95)	● 文字焼き込みされた画像
アフレコ(P97)	● 動画 ● プロテクトされた画像

■ D端子接続用コンポーネントケーブル接続時に使用できない機能

[LCDモード]/[ヒストグラム表示]/[文字焼き込み]/[複数リサイズ]/[横縦比変換]/[アフレコ]/[コピー]/[DPOFプリント]の複数設定 /[プロテクト]の複数設定/[複数削除]/ 動画からの静止画作成/[かんたん整理]/[2画面再生]

Q ＆ A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P115～120)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影時にセットアップメニューの[設定リセット](P25)を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

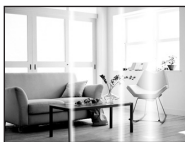
Q(質問)	A(回答)
電源を[ON]にしても動作しない。	●バッテリーが正しい向きに入っていません。(P17) ●バッテリーが消耗しています。
電源を[ON]にしているのに、液晶モニターが消灯している。	●[エコモード]の[自動液晶OFF](P25)が働いていませんか？ →シャッターボタンを半押しして、解除してください。 ●バッテリーが消耗しています。
電源を[ON]にしてもすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード](P24)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
充電[CHARGE]ランプが点滅する。	●バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか？その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。 ●チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか？ →乾いた布でふき取ってください。

■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
画像が撮れない。	●撮影/再生切換スイッチは[iA/📷]に設定されていますか？(P28) ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を削除して容量を増やしてください。(P38、87)
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒(P12)を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像の周囲が暗くなる。	●W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ →少しズームしてから撮影してください。(P34)
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。(P53) ●[下限シャッター速度]を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →[下限シャッター速度]を遅く設定してください。
1回の撮影で、2～3枚の画像が撮れるときがある。	→オートブラケット(P54)、シーンモードの[高速連写](P59)または撮影メニューの[連写](P72)を[OFF]に設定してください。
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。(P32) ●手ブレや被写体ブレしています。(P33)

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→ 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P29） → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P46）を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	● 記録可能枚数が2枚以下ではありませんか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） → ISO感度を低くしてください。（P68） → [画質調整]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。（P74） → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか？高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出る。	● CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
動画撮影が途中で止まる。	● マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。 → [画質設定]を[30fps VGA]、[30fps 16:9H]、[15fps 16:9H]または[30fps 16:9L]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
被写体をタッチしても動体追尾できない。	→ 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分をタッチするなど、被写体の特徴的な色の部分をタッチしてください。（P47）

■ レンズについて

Q(質問)	A(回答)
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●ズームの倍率によっては、レンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また、広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニターについて

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]中に、液晶モニターが消える。	●[エコモード]の[自動液晶OFF](P25)では、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。[ただし、ACアダプター(別売:DMW-AC5)使用時を除く] バッテリーの残量が少ないと、フラッシュの充電に時間がかかり、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	→液晶モニターの明るさを正しく調整してください。(P23) ●[パワーLCD]または[ハイアングル]になっていませんか?(P23)
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	●[⊛]に設定していませんか? →フラッシュモードを変更してください。(P41) ●オートブラケット(P54)または撮影メニューの[連写](P72)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが2回発光する。	●赤目軽減(P41)にしている場合は、2回発光します。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P94)を[ON]に設定しています。 ●[画像回転](P94)で画像を回転することができます。
再生できない。	●撮影/再生切換スイッチは[▶]に設定されていますか？(P35) ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
撮影した画像が表示されない。	●[カレンダー検索]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P37)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を削除するには、フォーマット(P27)してください。(他の画像も削除され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P19) ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された静止画ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	●動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。 →本機の[ビデオ出力]を[NTSC]に設定してください。(P26) ●パソコンやプリンターと接続しているとき、[COMPONENT OUT]端子からの出力はできません。 →本機をテレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル(付属)またはD端子接続用コンポーネントケーブル(別売:DMW-HDC1)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P105、106)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P26)
パソコンに接続して画像を転送できない。	●正しく接続されていますか？ ●パソコンが本機を正常に認識していますか？ →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P26、99)
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	→USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	●PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 →本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P26、101)
プリントすると、画像の端が切れる。	→トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) →お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	●暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ（P75）が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	●撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？（P75） ●明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	●ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	●ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。（P19）時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00]の日付が記録されます。
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	●EX光学ズーム時、W端付近ではズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P100）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	●電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー･ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢/年齢が正しく表示されない。	●時計設定（P19）または誕生日設定（P58）を確認してください。
レンズ鏡筒が収納される。	●撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
タッチしたものと違うものが選択される。	→タッチパネル調整（P27）を行ってください。

使用上のお願い

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願い（つづき）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

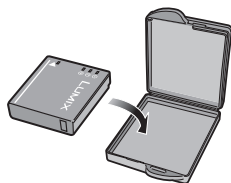
バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーキャリングケース（付属）に収納してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P108）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

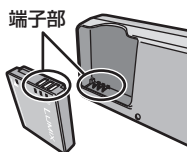
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion Ni

充電式
リチウムイオン
電池使用

チャージャーについて

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

端子部

使用上のお願い（つづき）

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%～60%です）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数･時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数･時間は変動します。

■ **記録可能枚数**（静止画：枚）

画像横縦比		4:3											
記録画素数		10M：10M (3648×2736)		7M：7M EZ (3072×2304)		5M：5M EZ (2560×1920)		3M：3M EZ (2048×1536)		2M：2M EZ (1600×1200)		0.3M：0.3M EZ (640×480)	
クオリティ													
内蔵メモリー（約50 MB）		9	20	14	28	20	40	32	62	51	97	240	400
カード	16 MB	2	5	3	7	5	10	8	16	13	26	68	110
	32 MB	5	11	7	16	11	23	18	36	29	56	145	230
	64 MB	11	24	16	34	24	48	38	75	61	115	290	480
	128 MB	24	49	35	69	50	99	78	150	125	230	600	970
	256 MB	48	97	68	135	98	190	150	290	240	460	1170	1900
	512 MB	97	190	135	270	195	380	300	590	480	910	2320	3770
	1 GB	195	380	270	540	390	770	600	1180	970	1830	4640	7550
	2 GB	390	770	550	1090	790	1530	1220	2360	1920	3610	8780	12290
	4 GB	770	1520	1090	2150	1560	3010	2410	4640	3770	7090	17240	24130
	8 GB	1580	3100	2230	4380	3180	6130	4910	9440	7670	14440	35080	49120
	16 GB	3180	6250	4490	8820	6410	12350	9880	19000	15440	29070	70590	98840

■ **記録可能時間（動画撮影時）**

画像横縦比		4:3			
画質設定		30fps VGA	10fps VGA	30fps QVGA	10fps QVGA
内蔵メモリー（約50 MB）		―	―	1分43秒	5分00秒
カード	16 MB	6秒	26秒	26秒	1分22秒
	32 MB	17秒	58秒	59秒	2分55秒
	64 MB	39秒	2分00秒	2分00秒	6分00秒
	128 MB	1分23秒	4分10秒	4分10秒	12分20秒
	256 MB	2分45秒	8分10秒	8分10秒	24分00秒
	512 MB	5分30秒	16分20秒	16分20秒	47分50秒
	1 GB	11分00秒	32分50秒	32分50秒	1時間35分
	2 GB	22分30秒	1時間7分	1時間7分	3時間15分
	4 GB※	44分20秒	2時間11分	2時間11分	6時間22分
	8 GB※	1時間30分	4時間28分	4時間28分	12時間59分
	16 GB※	3時間1分	8時間59分	8時間59分	26時間8分

	3:2								16:9							
	9M：9M (3648×2432)		6M：6M EZ (3072×2048)		4.5M：4.5M EZ (2560×1712)		2.5M：2.5M EZ (2048×1360)		7.5M：7.5M (3648×2056)		5.5M：5.5M EZ (3072×1728)		3.5M：3.5M EZ (2560×1440)		2M：2M EZ (1920×1080)	
	11	22	15	32	22	45	36	69	13	26	18	37	27	53	47	92
	2	5	3	8	5	12	9	18	3	6	4	10	7	14	12	25
	6	12	8	18	13	26	20	40	7	15	10	21	15	30	27	53
	13	27	19	38	27	54	43	83	15	32	22	45	32	63	57	105
	27	55	39	78	56	110	88	165	33	65	46	92	66	125	115	220
	54	105	77	150	110	210	170	330	65	125	91	180	130	250	220	430
	105	210	150	300	210	430	340	650	125	250	180	350	250	500	450	860
	210	430	300	600	440	860	680	1310	250	510	360	710	520	1000	900	1720
	440	870	620	1220	890	1700	1360	2560	520	1020	730	1420	1040	1980	1800	3410
	870	1720	1230	2410	1740	3350	2680	5020	1030	2010	1450	2800	2040	3890	3540	6700
	1770	3500	2500	4910	3550	6820	5450	10230	2090	4090	2950	5710	4160	7920	7220	13640
	3580	7050	5040	9880	7160	13720	10980	20590	4220	8230	5950	11490	8370	15940	14530	27450

	16:9			
	30fps 16:9H	15fps 16:9H	30fps 16:9L	10fps 16:9L
	—	—	—	—
	0秒	4秒	5秒	22秒
	4秒	12秒	14秒	50秒
	13秒	29秒	33秒	1分45秒
	29秒	1分1秒	1分11秒	3分35秒
	1分00秒	2分00秒	2分20秒	7分00秒
	2分00秒	4分00秒	4分40秒	14分00秒
	4分00秒	8分10秒	9分20秒	28分10秒
	8分20秒	16分50秒	19分20秒	57分30秒
	16分40秒	33分20秒	38分00秒	1時間53分
	33分50秒	1時間7分	1時間17分	3時間50分
	1時間8分	2時間16分	2時間36分	7時間43分

※ 動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。
画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの[高感度]、[高速連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.6 W(撮影時) 0.8 W(再生時)

カメラ有効画素数	1010万画素
撮像素子	1/2.33型CCD　総画素数1070万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学5倍ズーム　f=4.4 mm〜22 mm(35 mmフィルムカメラ換算:25 mm〜125 mm)/F2.8 〜 F5.9
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大8.9倍
フォーカス	通常/マクロ/タッチAF/AE 顔認識/9点/3点(H)/1点(H)/1点/スポット/画面タッチエリア(タッチAF/AE時)
撮影範囲	通常:50 cm(W端時)/1 m(T端時)〜∞ マクロ/インテリジェントオート:5 cm(W端時)/1 m(T端時)〜∞ シーンモード:上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	画像横縦比[4:3]設定時 640×480画素(30コマ/秒、10コマ/秒、カード使用時のみ)/ 320×240画素(30コマ/秒、10コマ/ 秒) 画像横縦比[16:9]設定時 848×480画素(30コマ/秒、10コマ/秒、カード使用時のみ) 1280×720画素(30コマ/秒、15コマ/秒、カード使用時のみ) 音声付き
連写撮影: 連写速度 連写枚数	2.5コマ/秒(通常)、約2コマ/秒(フリー連写) 最大5コマ(スタンダード)、最大3コマ(ファイン)、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存(フリー連写)
高速連写: 連写速度 連写枚数	約6コマ/秒 記録画素数: 2M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9) 内蔵メモリー使用時:約20枚(フォーマット直後) カード使用時:最大100枚(カードの種類、撮影条件によって異なる)
ISO感度	オート/100/200/400/800/1600 シーンモードの[高感度]: 1600〜6400
シャッタースピード	60秒〜1/2000秒、シーンモードの[星空]: 15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、シャッター優先AE(S)、 マニュアル露出 (M) 露出補正(1/3 EVステップ、−2 EV〜+2 EV)
測光方式	評価測光/中央重点測光/スポット測光
液晶モニター	3.0型低温ポリシリコンTFT液晶(約23万ドット)(視野率約100%)
フラッシュ	撮影可能範囲:約60 cm〜約6.0 m(W端、[ISO AUTO]設定時)
	オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光)/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止

マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約 50 MB)/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/マルチメディアカード(静止画のみ対応)
記録画素数 静止画 動画	 画像横縦比[4:3]設定時 3648×2736画素/3072×2304画素/2560×1920画素/2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 3648×2432画素/3072×2048画素/2560×1712画素/2048×1360画素 画像横縦比[16:9]設定時 3648×2056画素/3072×1728画素/2560×1440画素/1920×1080画素 画像横縦比[4:3]設定時 640×480画素(カード使用時のみ)/320×240画素 画像横縦比[16:9]設定時 1280×720画素(カード使用時のみ)/848×480画素(カード使用時のみ)
クオリティ(圧縮率)	ファイン/スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 動画	 JPEG(DCF準拠、Exif2.21準拠)/DPOF対応 JPEG(DCF準拠、Exif2.21準拠)+QuickTime(音声付き静止画) QuickTime Motion JPEG(音声付き動画)
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	 USB 2.0(High Speed) NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え)/ コンポーネント オーディオライン出力(モノラル)
端子 COMPONENT OUT AV OUT/DIGITAL DC IN	 専用ジャック(10pin) 専用ジャック(8 pin) 専用ジャック(2pin)
寸法	約 幅94.9 mm×高さ57.1 mm×奥行き22.9 mm(突起部除く)
質量	約155 g(本体) 約175 g(カード、バッテリー含む)
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%

専用バッテリーチャージャー/DE-A39A

定格出力	DC 4.2 V 0.8 A(充電時)
定格入力	AC100 V－240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA(100 V/240 V)

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCE10

電圧	3.6 V

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理·お取り扱い·お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- **修理は、サービス会社·販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた·お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FX500
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料·部品代·出張料などで構成されています。

技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換·調整·修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー·ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電 話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	**岩手**	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	**山形**	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1 ☎ (018)868-7008	**宮城**	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	**埼玉**	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨**	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5822
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	**千葉**	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	**神奈川**	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	**東京**	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟**	新潟市東区東明 1丁目8-14 ☎ (025)286-0180

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	**長野**	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	**岐阜**	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	**静岡**	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	**高山**	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)21-0622	**愛知**	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重**	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)254-5520

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪**	大阪市城東区関目 2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225	**和歌山**	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良**	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫**	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区		
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎(082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236	

四国地区		
香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253		

九州地区		
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草** 天草市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎 長崎市東町1919-1 ☎(095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎(0997)53-5101

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

- 撮りかたのコツや新製品情報　http://panasonic.jp/
- サポート情報　http://panasonic.jp/support/
- 便利なLUMIX修理サービス　http://lumix.jp/repair/

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-FX500
販売店名	☎（　　）		

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

F0208SM3098 (00000 Ⓐ)